

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
 3. 蒸気発生器(U/I)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SAI/SA2	備考
								第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回					
B2.40	B-B	管板と水室鏡との周溶接継手	体積	代表1基の25%	1ヶ-A/基×4基	UT	代表1基の25%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	SA1 SA2					
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT	代表1基の25% (1箇所)	A人口1箇所						SA1 SA2					
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT・PT	代表1基の溶接継手数の25% (1箇所)				A人口1箇所			SA1 SA2	・UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※)対応) ・超音波探傷試験の代替試験必要箇所				
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×4基	VT-1	代表1基の25% (8本)	A人口2本			A人口2本			SA1 SA2	・漏えい検査時実施				
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×4基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)							SA1 SA2					
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—					
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%	4基	ECT	—	—	—	—	—	—	—	SA1 SA2	・別要領書により実施。				
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ベースプレート、基礎ボルト含む。)	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×4基	VT-3	代表1基の25% (1箇所)	A:1箇所						SA1 SA2					

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	玄海原子力発電所3号機検査計画										SAI/SA2	備考
						第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回					
—	—	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×4基	E C T	UT実施箇所100%				A人口1箇所			SA1 SA2	・超音波探傷試験の代替措置計画に基づく検査対象箇所(亀裂の解釈(※)対応)		

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
4. 配管(1/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考					
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回	SA773			
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	8箇所	VT-1	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	SA1 SA2	・漏えい検査時実施		
		一次冷却材管	体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA1 SA2			
		加圧器サージライン	体積	25%	8箇所	UT	25% (2箇所)						1箇所			SA1 SA2			
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2			
		加圧器逃がしライン	体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所			1箇所				SA1 SA2			
		加圧器スプレイレイン	体積	25%	64箇所	UT	25% (16箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	2箇所			・第16回配管工事に伴う変更	
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	2箇所	SA2			
		B9.11	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積	25%	15箇所	UT	25% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		SA2	
				蓄圧注入ライン	体積	25%	63箇所	UT	25% (16箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所		SA1 SA2	
				高温側低圧注入ライン	体積	25%	43箇所	UT	25% (11箇所)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	2箇所		SA2	
低温側低圧注入ライン	体積			25%	26箇所	UT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA1 SA2				
加圧器逃がしライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		SA1 SA2				
加圧器補助スプレイレイン	表面			25%	25箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所					
クロスオーバーレグドレンライン, 抽出ライン, 余熱抽出ライン	表面			25%	28箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
充てんライン	表面			25%	15箇所	PT	25% (4箇所)	1箇所		1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
封水注入ライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所		1箇所			1箇所		SA2			
B9.21	B-J			余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)								SA2		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2				
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所					1箇所		SA1 SA2				

クラス1機器供用期間中検査GN3-1(保全重要度:高)
4.配管(2/5)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA77s	備考
							第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回						
B9.31	B-J	一次冷却材管	体積	25%	9箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
		一次冷却材管	表面	25%	32箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
B9.32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	1箇所	PT	100%* (1箇所)										SA2	(※管台については全数実施する)
		高温側低圧注入ライン	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)				1箇所						SA2	
		低温側低圧注入ライン	表面	25%	3箇所	PT	25% (1箇所)	1箇所									SA1 SA2	
		一次冷却材管	表面	25%	24箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2	
B9.40	B-J	加圧器補助スプレイライン	表面	25%	7箇所	PT	25% (2箇所)		1箇所								—	
		クロスオーバーバレッジドドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面	25%	7箇所	PT	25% (2箇所)		1箇所								SA2	
		封水注入ライン	表面	25%	62箇所	PT	25% (16箇所)	2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	29箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B10.20	B-K	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)										SA1 SA2	
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—		

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA77s	備考
							第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回						
—	—	余熱除去ポンプ入口ライン(2) 配管と管台との溶接継手	表面	100%	1箇所	PT	100% (1箇所)										SA2	

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
4. 配管(3/5)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)												SAV7s	備考		
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回						
F1.10	F-A	加圧器サージライン	25%	VT-3	7箇所	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2				
					RH 2箇所														
					MS 5箇所														
					RH 2箇所														
F1.10	F-A	加圧器逃がしライン	25%	VT-3	10箇所	25% (3箇所)		1箇所							SA1 SA2				
					MS 6箇所														
					SH 2箇所														
					RH 41箇所														
F1.10	F-A	加圧器スプレイライン	25%	VT-3	65箇所	25% (17箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-				
					MS 20箇所														
					SH 3箇所														
					CH 1箇所														
F1.10	F-A	加圧器補助スプレイライン	25%	VT-3	47箇所	25% (12箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-				
					MS 3箇所														
					SH 1箇所														
					AN 1箇所														
F1.10	F-A	クロスオーバーバレッジドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	25%	VT-3	22箇所	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2					
					RH 18箇所														

クラス1機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
4. 配管(4/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)												SAV7ス	備考	
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回						
F1.10	F-A	充てんライン	VT-3	25%	4箇所	RH 2箇所	VT-3	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
					MS 1箇所													
					AN 1箇所													
		封水注入ライン	VT-3	25%	17箇所	RH 15箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
					MS 2箇所													
					SH 5箇所													
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	17箇所	RH 10箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
					MS 2箇所													
					SH 9箇所													
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	18箇所	RH 9箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
MS 8箇所																		
HS 1箇所																		
蓄圧注入ライン	VT-3	25%	29箇所	RH 20箇所	VT-3	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2			
			MS 9箇所															
			SH 13箇所															
高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	20箇所	RH 4箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
			MS 2箇所															
			SH 1箇所															

クラス1機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
4. 配管(5/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)										SAV7s	備考			
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回					
F1.10	F-A	低温側低圧注入ライン	25%	19箇所	VT-3	RH 10箇所	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2			
				MS 5箇所									1箇所					1箇所
				HS 4箇所														
		高温側高圧補助注入ライン	25%	41箇所	VT-3	RH 39箇所	25% (11箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2				
				MS 2箇所														1箇所
		低温側高圧補助注入ライン	25%	14箇所	VT-3	RH 13箇所	25% (4箇所)	1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2				
				MS 1箇所														

クワース1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
 5. 1 次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012				玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)						SAクラス	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回			第20回	第21回	第22回
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体積	代表1台の25%	24本×4台	UT	代表1台の25% (6本)							C:6本	SA1 SA2	
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の25%	24箇所×4台	VT-1	代表1台の25% (6箇所)							C:6箇所	SA1 SA2	・開放時に実施 ・ボルト穴廻り
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	24個×4台	VT-1	代表1台の25% (6個)							C:6個	SA1 SA2	
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	4台	VT-3	代表1台の100%							C:100%	SA1 SA2	・開放時に実施
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ベースプレート、基礎ボルトを含む。)	VT-3	代表1台の25%	3箇所×4台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)			A:1箇所					SA1 SA2	

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
6. 弁(1/3)

項目番号	カテゴリ	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回		第20回	第21回	第22回	SA7ス
B6.210	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)														
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420,430)	体積	代表1台の25%	2台	UT	代表1台の100%					1台(430)			SA2	
B6.220	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)														
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420,430)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%				1台(430)			SA2	・分解点検時に実施	
B6.230	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト, ナット, ワッシャ)														
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%						1台(002A)	SA2	・分解点検時に実施	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト, 挿込みボルト, ナット)														
		加圧器安全弁ライン (3V-RC-055,056,057)	VT-1	代表1台の25%	3台	VT-1	代表1台の100%		1台(055)					SA2	・漏えい検査時に実施	
B7.70	B-G-2	加圧器逃がしライン (3V-RC-054A,B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%			1台(054A)				SA1 SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器逃がしライン (3PCV-452A,B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%					1台(452A)		SA1 SA2	・分解点検時に実施	
B7.70	B-G-2	加圧器サブレイライン (3PCV-451A,B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%						1台(451B)	—	・漏えい検査時に実施	
		加圧器補助サブレイライン (3V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%		1台					—	・使用時に実施	
B7.70	B-G-2	クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (3V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%			1台(019B)				SA2	・漏えい検査時に実施	
		クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (3LCV-451,452)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%				1台(452)			SA2	・漏えい検査時に実施	
B7.70	B-G-2	クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (3V-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%						1台	SA2	・漏えい検査時に実施	
		充てんライン (3V-CS-233,235)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%		1台(233)					SA2	・漏えい検査時に実施	

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
6. 弁(2/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		北海道電力株式会社 3号機 検査計画 (10年間)										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回		第22回	SA7/7s	
B7. 70	B-G-2	蓄圧注入ライン (3V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-1	代表1台の 25%	8台	VT-1	代表1台の 100%				1台 (136A)				SA1 SA2	・漏えい検査時に実施 (第1 逆止弁を選択)	
			VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%				1台 (082B)				SA2		・漏えい検査時に実施 (第1 逆止弁を選択)
			VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%			1台 (050A)					SA2		
B12. 50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台	3台	VT-3	代表1台		1台 (055)						SA2	・分解点検時に実施	
			VT-3	代表1台	2台	VT-3	代表1台			1台 (420)					SA2		・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	2台	VT-3	代表1台							1台 (002A)	SA2		
			VT-3	代表1台	8台	VT-3	代表1台						1台 (136B)		SA1 SA2		
			VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台				1台 (051A)				SA2		
B15. 70	B-P	高温側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)	VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台								SA2	・分解点検時に実施	
			VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台								SA2		
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-050A~D)	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)		100%						—		
		弁本体の内表面															
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)															
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)															
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A~D, 136A~D)															
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)															
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-050A~D)															
		圧力保持範囲															

クラス1 機器供用期間中検査 GN 3 - 1 (保全重要度：高)
6. 弁(3/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)										SA/7s	備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回							
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の25%	3箇所	AN	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	1箇所 (055)								SA2			
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)		1箇所 (054A)								SA1 SA2		
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)			1箇所 (452A)							SA1 SA2		
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)					1箇所 (451A)					-		
			VT-3	代表1台の25%	1箇所	RH	VT-3	代表1台の25% (1箇所)							1箇所			-		
			VT-3	代表1台の25%	2箇所	RH	VT-3	代表1台の25% (1箇所)								1箇所 (451)		SA2		
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)										SA2		
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	HS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)										SA2		
					VT-3	代表1台の25%	4箇所	HS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)									SA2	1箇所 (002A)
					VT-3	代表1台の25%	4箇所	HS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)									SA2	

クラス2機器供用期間中検査GN3-5 (保全重要度：高)
1. 容器(1/2)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	カテゴリー	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	第18回
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	B:7.5%					SA2	
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%		B:7.5%				SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)					B入口1箇所	SA2	

蒸気発生器 (二次側)

項目番号	カテゴリー	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	第18回
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
C1.20	C-A	上部鏡と上部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
C1.30	C-A	下部胴と管板の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所×4基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
C2.21	C-B	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所×4基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		給水入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	1箇所×4基	UT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
C2.22	C-B	蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	1箇所×4基	UT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)

※1 第17回定期検査以降は維持規格JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追加含む) を適用

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度：高)
 1. 容器(2/2)

格納容器スプレイ冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		検査範囲	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					SA77A	備考		
			検査方法	体積			検査範囲	検査方法	検査範囲	第13回	第14回			第15回	第16回
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	代表1基の溶接継手長さの7.5%	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	—	—	—	—	—	SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第17回定検よりDB-ISTへ検査計画移行)
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	代表1基の溶接継手長さの7.5%	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	—	—	—	—	A:7.5%	SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第17回定検よりDB-ISTへ検査計画移行)
C4.10	C-D	カラーボルト	体積	代表1基の7.5%	代表1基の7.5%	代表1基の7.5%	UT	代表1基の7.5%(3本)	—	—	—	—	A:1本	SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第17回定検よりDB-ISTへ検査計画移行)
C4.10	C-D	全ネジボルト	体積	代表1基の7.5%	代表1基の7.5%	代表1基の7.5%	UT	代表1基の7.5%(1本)	—	—	—	—	—	SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加(第17回定検よりDB-ISTへ検査計画移行)

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
2. 配管(1/8)

項目番号	カテゴリ	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SAクラス	備考		
		検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
C3.20	C-C	余熱除去ポンプ吸入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						SA2	
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所			SA2	
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所					SA2	
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				SA2	
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				SA2	
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所	SA1 SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA1 SA2	
		低温側高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所					SA1 SA2	
		格納容器再循環サンプル出口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所	SA2	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	10箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2	・16回改造工事に伴う変更 ・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う設備数変更
		主給水ライン	表面	7.5%	20箇所	PT	7.5% (2箇所)							SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第2検査時追加のため第4サイクルより計画確定)
		主蒸気ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第2検査時追加のため第4サイクルより計画確定)

クラス2機器供用期間中検査GN3-5 (保全重要度:高)

2. 配管(2/8)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)										検査回数	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回		
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	1箇所						SA2		
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	41箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			SA2		
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所		SA2		
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	61箇所	UT・PT	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			SA2		
		高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	19箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)		1箇所	1箇所				SA2		
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	39箇所	UT・PT	7.5% (3箇所)		1箇所					SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	53箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所				SA2		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う設備数変更
		高圧注入ポンプ出口連絡ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							—		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		燃料取替用水タンク出口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				SA2		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2		・「接近不可」のため検査は実施不可となるが個別評価フローに基づき問題ないことを確認している。
		主給水ライン	体積及び表面	7.5%	48箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)							SA2		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	56箇所	UT・PT	7.5% (5箇所)							SA2		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主蒸気ライン	表面	7.5%	16箇所	PT	7.5% (2箇所)							—		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主蒸気遮がしライン(1)	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							SA2		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主蒸気遮がしライン(1)	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(1)	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
格納容器給気ダクトライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							—		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)		
格納容器排気ダクトライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)							—		・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)		

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
2. 配管(3/8)

項目番号	カテゴリ	玄海原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)										検査範囲	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	3号機検査計画 (1.0年間)					SAM7s	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回																	
C5.12	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所								SA2											
		主蒸気ライン	体積及び凸表面	7.5%	76箇所	UT・PT	7.5% (6箇所)										SA2								・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)		
		格納容器給気ダクトライン	体積及び凸表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)																			・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)	
		格納容器排気ダクトライン	体積及び凸表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)																				・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	56箇所	PT	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					SA2									・16回改造工事に伴う変更	
C5.21	C-F	高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所								SA1 SA2											
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	47箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					SA1 SA2											
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)									SA1 SA2											
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)					1箇所				SA1 SA2											
		代替炉心注入ライン	表面	7.5%	15箇所	PT	7.5% (2箇所)									SA1										・原子炉安全補助施設に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)	
		封水注入ライン	表面	7.5%	16箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所			SA2											
		高圧注入ポンプミニフローライン	表面	7.5%	10箇所	PT	7.5% (1箇所)																			・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)	
C5.30	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所								SA2											
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	24箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所							SA1 SA2											
		封水注入ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所					1箇所			SA2											
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)									SA2											
		高圧注入ポンプミニフローライン	表面	7.5%	18箇所	PT	7.5% (2箇所)																			・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)	
C5.41	C-F	高圧注入ポンプミニフローライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)																		・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)		

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
2. 配管(5/8)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)										SA7xs	備考			
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回					
F1.21	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	55箇所	VT-3	7.5%	RH	55箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
				AN			0箇所	1箇所			1箇所	1箇所	1箇所				
	低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	26箇所	RH	15箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
					MS	1箇所			1箇所			1箇所	1箇所				
					HS	8箇所			1箇所			1箇所	1箇所	1箇所			
					AN	2箇所			1箇所			1箇所	1箇所	1箇所			
	高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	24箇所	RH	24箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定) 	
					AN	3箇所			1箇所			1箇所	1箇所				
	高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	30箇所	RH	27箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	<ul style="list-style-type: none"> ・16回改造工事に伴う変更 ・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う設備数及び検査範囲変更 ・第4サイクルより計画見直し 	
					AN	3箇所			1箇所			1箇所	1箇所				
高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3	7.5%	2箇所	RH	2箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	-	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外に伴う追加 (第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定) 		
				AN	3箇所			1箇所			1箇所	1箇所					
低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	57箇所	RH	54箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2			
				AN	3箇所			1箇所			1箇所	1箇所					
低温側高圧補助注入ライン連絡管	VT-3	7.5%	15箇所	RH	11箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2			
				AN	4箇所			1箇所			1箇所	1箇所					
高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	3箇所	RH	2箇所	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5%	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
				AN	1箇所			1箇所			1箇所	1箇所					

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
3. ボンプ(1/2)

赤んぼポンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA77S	備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	設備数	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
									第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け 溶接継手	表面	7.5% (4箇所)	16箇所 ×3台	PT	7.5% (4箇所)	A:1箇所		A:1箇所	B:1箇所		SA2			
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%	16本 ×3台	UT	代表1台の 7.5% (2本)			A:2本			SA2			
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	1箇所 ×3台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)			A:1箇所			SA2			
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×3台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			A:1箇所			SA2			

余熱除去ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA77S	備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	設備数	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
									第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)				A:1箇所		SA2			
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				A:1箇所		SA2			

高圧注入ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA77S	備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	設備数	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
									第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け 溶接継手	表面	7.5%	16箇所 ×2台	PT	7.5% (3箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加 のため第4サイクルより計画策定)		
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%	16本 ×2台	UT	代表1台の 7.5% (2本)						SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加 のため第4サイクルより計画策定)		
C5.30	C-F	バランスフランジ及びバランス管 の耐圧部分の溶接継手	表面	7.5%	2箇所 ×2台	PT	7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加 のため第4サイクルより計画策定)		
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	4箇所 ×2台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加 のため第4サイクルより計画策定)		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)						SA2	・クラス2非破壊試験免除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加 のため第4サイクルより計画策定)		

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度：高)
 3. ポンプ(2/2)

格納容器スプレイポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						SM77S	備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	SA2	・クラス2非破壊試験免除除用を適用除外に伴う追加(第17回定検よりDB-ISIへ検査計画移行)

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度：高)

4. 弁(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)							備考			
					4箇所	4箇所	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SAクラス				
F1.43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン (3HCY-603, 613)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所	HS	1箇所 (603)							SA2			
		余熱除去冷却器出入口ライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所	HS		1箇所 (614)							SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン (3V-SI-062A)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	1箇所	MS										・16回改造工事に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)	
		高温側高圧補助注入ライン (3V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	3箇所	RH			1箇所 (067B)						SA2		
		低温側高圧補助注入ライン (3V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	3箇所	RH					1箇所 (066A)				SA1 SA2		
		代替炉心注入ライン (3V-TS-164A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所	RH									SA1	・原子炉安全補助施設に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)	
		封水注入ライン (3V-SI-026A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所	RH									SA2		
		高圧注入ポンプミニフローライン (3V-SI-015A, B, 016A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	8箇所	RH											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主給水ライン (3V-FW-520A~D)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所	RH											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		タービン動補助給水ポンプ 蒸気入口連絡ライン(1) (3V-MS-575A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所	RH										SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主蒸気ライン (3HCY-3615, 3625, 3635, 3645)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	8箇所	HS											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		主蒸気逃がしライン(1) (3V-MS-523A~D)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	4箇所	RH										SA2	・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		格納容器給気ダクトライン (3V-VS-054, 055)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所	RH											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		格納容器排気ダクトライン (3V-VS-056, 057)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所	RH											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		格納容器減圧ライン(NM32FAH) (3V-DP-311A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所	RH											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)
		格納容器減圧ライン(BA32R) (3V-DP-313A, B)	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所	RH											・クラス2非破壊試験免除除規定適用 除外に伴う追加(第3検査時期追加のため第4サイクルより計画策定)

クラス2 機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度: 高)

5. クラス2 機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考
		系統名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2				●		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 充てんポンプ出口ライン	VT-2		●				
C7.30, C7.50 C7.70			B 充てんポンプ出口ライン	VT-2		●				
C7.30, C7.50 C7.70			C 充てんポンプ出口及び封水注入ライン	VT-2			●			
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (1)	VT-2			●			
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (2)	VT-2			●			
C7.30, C7.70			抽出ライン (3)	VT-2			●			
C7.10, C7.30 C7.70			体積制御タンク入口ライン	VT-2			●			
C7.10, C7.30 C7.70			A ほう酸ポンプ入口ライン	VT-2		●				
C7.10, C7.30 C7.70			B ほう酸ポンプ入口ライン	VT-2		●				
C7.30, C7.50 C7.70	A ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.50 C7.70	B ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	ほう酸混合器及び出入口ライン	VT-2								
C7.30, C7.70	RCP 封水注入戻りライン	VT-2		●						
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統	A, B 高圧注入ポンプ入口ライン	VT-2					○	
C7.30, C7.50 C7.70			A 高圧注入ポンプ出口ライン (1)	VT-2				●		
C7.30, C7.70			A 高圧注入ポンプ出口ライン (2)	VT-2				●		
C7.30, C7.50 C7.70			B 高圧注入ポンプ出口ライン (1)	VT-2					○	
C7.30, C7.70			B 高圧注入ポンプ出口ライン (2)	VT-2					○	
C7.30, C7.70			A 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2					○	
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2					○	
C7.10, C7.30 C7.70			A 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			●			
C7.10, C7.30 C7.70			B 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			●			
C7.10, C7.30 C7.70			C 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2		●				
C7.10, C7.30 C7.70	D 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	蓄圧タンクテストライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	蓄圧タンクN ₂ 供給ライン	VT-2			●					

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)

5. クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考
		系統名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ入口ロライン	原子炉停止時冷却運転圧力 (2.75MPa) 以上	●					
C7.30, C7.50 C7.70			B 余熱除去ポンプ入口ロライン	原子炉停止時冷却運転圧力 (2.75MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ロライン (1)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ロライン (2)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ロライン (1)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ロライン (2)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上	●					
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ入口ロライン	A 格納容器スプレイポンプ入口ロライン	燃料取替用水タンク水位 96%以上(水張り)	●					
C7.30, C7.50 C7.70			B 格納容器スプレイポンプ入口ロライン	燃料取替用水タンク水位 96%以上(水張り)	●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ロライン (1)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ロライン (2)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ロライン (1)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ロライン (2)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク及びび出入ロライン	よう素除去薬品タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (0.03MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			A よう素除去薬品タンク出口ロライン	定常運転圧力 (0.03MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			B よう素除去薬品タンク出口ロライン	定常運転圧力 (0.03MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 96%以上(水張り)	●					
C7.30, C7.70			原子炉キャビティ浄化入口ロライン	—	—					● C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70			原子炉キャビティ浄化出口ロライン	—	—					
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A 蒸気発生器給水入口ロライン	原子炉停止時水位 原子炉キャビティ水位 EL+10.87m以上(水張)	●					
C7.10, C7.30 C7.70			B 蒸気発生器給水入口ロライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.70			C 蒸気発生器給水入口ロライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.70			D 蒸気発生器給水入口ロライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			A 蒸気発生器蒸気出口ロライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			B 蒸気発生器蒸気出口ロライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統	C 蒸気発生器蒸気出口ロライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器蒸気出口ロライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70										
C7.30, C7.70										

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
 5. クラス2機器漏えい検査(3/4)

項目 番号	カテゴリー	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考		
		系統名	ライン名称		検査圧力	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	
C7.30, C7.70	C-H	一次冷却材系統	加圧器逃がしタンクガス分析ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			加圧器逃がしタンクN ₂ 供給ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			加圧器逃がしタンクPMW供給ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			A 蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70	C-H	蒸気発生器ブロー ダウン系統	B 蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			C 蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			A 蒸気発生器ブローダウンサブライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70	C-H	液体廃棄物処理系統	B 蒸気発生器ブローダウンサブライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			C 蒸気発生器ブローダウンサブライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器ブローダウンサブライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			蒸気発生器満水保管水出口ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	C-H	空気サブプリング系統	格納容器冷却材ドレンタンクガス分析ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			格納容器冷却材ドレンタンクN ₂ 供給ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			格納容器冷却材ドレンタンク出口ライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70			格納容器サブポンプ出口ライン	VT-2						○		
C7.30, C7.70	C-H	空調用冷水系統	格納容器空気サブプリング取出しライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			格納容器空気サブプリング戻りライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			制御棒位置指示装置室冷却ユニット 冷却水入口ライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70			制御棒位置指示装置室冷却ユニット 冷却水出口ライン	VT-2						○		
C7.30, C7.70	C-H	一次系脱塩水系統	格納容器脱塩水入口ライン	VT-2								
C7.30, C7.70			加圧器相部液相部、Aルーブ高温側 サブプルライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70			Bルーブ高温側サブプルライン	VT-2					●			
C7.30, C7.70			蓄圧タンク(A, B, C, D)サブプルライン	VT-2					●			
C7.30, C7.70	C-H	試料採取系統	事故時サブプリング水ドレン戻りライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			事故時サブプリング空気ドレン戻りライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			格納容器換気排気ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	
C7.30, C7.70			格納容器換気供給ライン	VT-2	-	-	-	-	-	-	・C種漏えい率検査で代替	

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)

5. クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考		
		系統名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C7.30, C7.70	C-H	換気空調系統	A格納容器換気水素パーシ給気ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B格納容器換気水素パーシ給気ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			A格納容器減圧ライン	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	●C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70			B格納容器減圧ライン	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	●C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70	C-H	補助蒸気系統	格納容器補助蒸気ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	C-H	所内用空気系統	格納容器所内用空気ライン	VT-2						○		
C7.30, C7.70	C-H	消火用水系統	格納容器消火用水ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	格納容器再循環ユニットA, B冷却水入口ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットA冷却水出口ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットB冷却水出口ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットC, D冷却水入口ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットC冷却水出口ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットD冷却水出口ライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70			制御棒駆動装置冷却水出口ライン	VT-2							○	
C7.30, C7.70			一次冷却材ポンプ及び余剰抽出冷却器冷却水入口ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70			一次冷却材ポンプ及び余剰抽出冷却器冷却水出口ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			制御用空気Aヘッダライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70	制御用空気Bヘッダライン	VT-2		●								

クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査 GN3-9-9（保全重要度：高）
 クラス2管特別検査 (1/1)

項目 番号	カテ ゴリ	検査の対 象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)							SA775	備 考			
						検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回			第17回	第18回	
		配管の円周方向溶接継手															
		抽出ライン	体積	25%	17箇所	UT	25% (5箇所)	2箇所						1箇所			
		充てんライン	体積	25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所			1箇所	2箇所	SA2	・16回改造工事に伴う変更
	-	再生熱交換器連絡管															
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)		1箇所					1箇所			
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)			1箇所					1箇所	SA2	

第2サイクル

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN3-201(保全重要度:高)
 1. 原子炉容器(17/2)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012				
玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)				
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	100%
		トランジションリングと下部胴との周溶接継手	体積	100%
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンカップリング	VT-1	25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハウジングの溶接継手及びT/Cハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1 機器供用期間中検査で管理
FL41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	
GL10	G-P1	原子炉容器の内部	VT-3	100%	
GL40	G-P1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	
GL40 GL50	G-P1	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	
	G-P2	下部炉心支持構造物	VT-3	100%	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるN1基金金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
—	—	原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 2. 加圧器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡との周溶接継手	体積	5%	北海道電力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
		下部胴と下部鏡との周溶接継手	体積	5%	
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	
		中間胴の長手溶接継手	体積	10%	
B2.12	B-B	下部胴の長手溶接継手	体積	10%	
		上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%	
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
B2.13	B-B	サージ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	
		スプレイライ管用管台と容器との溶接継手			
		安全弁用管台と容器との溶接継手			
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			
B3.30	B-D	サージ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	
		スプレイライ管用管台内面の丸みの部分			
		安全弁用管台内面の丸みの部分			
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 2. 加圧器(2/2)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B5.40	B-F	サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手	体 種 及び表面	溶接継手 (管台) 数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		スプレイライ用管台とセーフエンドとの溶接継手			
		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			
		遮断弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体 種	7.5%	
F1.41	F-A	支持構造物 {スカート, 基礎ボルト含む。}	VT-3	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 3. 蒸気発生器(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査計画 (10年間)	備考
B2.40	B-B	管板と水室鏡との両溶接継手	体積	代表1基の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%		
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手数の25%		
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%		
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%		
F1.41	F-A	支持構造物 【 支持脚ベースプレート, 基礎ボルト含む。 】	VT-3	代表1基の25%		

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度:高)
 4. クラス1配管(1/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対 象 箇 所				
B7.50		B-6-2	封水注入ライン	VT-1	25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)
			一次冷却材管	体積	25%	
			加圧器サージライン	体積	25%	
			加圧器安全弁ライン	体積	25%	
			加圧器遮がしライン	体積	25%	
			余熱除去ポンプ入口ラライン(1)	体積	25%	
B9.11	B-J	B-7	余熱除去ポンプ入口ラライン(2)	体積	25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
			蓄圧注入ライン	体積	25%	
			高温側低圧注入ライン	体積	25%	
			低温側低圧注入ライン	体積	25%	
			加圧器遮がしライン	表面	25%	
			クロスオーバーバレルドレンライン、抽出ライン、余剰抽出ライン	表面	25%	
B9.21	B-J	B-7	充てんライン	表面	25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
			封水注入ライン	表面	25%	
			余熱除去ポンプ入口ラライン(2)	表面	25%	
			高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	
			低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管(2/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S-NAL-2012		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリー	検査の対 象 箇 所				
B9.31	B-J	一次冷却材管	一次冷却材管	体 積	25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
		一次冷却材管	一次冷却材管	表 面	25%	
		余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	表 面	25%	
		高温側低圧注入ライン	高温側低圧注入ライン	表 面	25%	
		低温側低圧注入ライン	低温側低圧注入ライン	表 面	25%	
		一次冷却材管	一次冷却材管	表 面	25%	
		クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表 面	25%	
		封水注入ライン	封水注入ライン	表 面	25%	
		高温側高圧補助注入ライン	高温側高圧補助注入ライン	表 面	25%	
		低温側高圧補助注入ライン	低温側高圧補助注入ライン	表 面	25%	
B10.20	B-K	余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	表 面	7.5%	

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	検査の対 象 箇 所		検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリー	検査の対 象 箇 所			
-	-	余熱除去ポンプ入口ロライン (2) 配管と管台との溶接継手	表 面	100%	玄海原子力発電所3号機点検計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管(3/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012		検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査箇所			
FL10	F-A	加圧器サージライン	加圧器サージライン	VT-3	25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器逃がしライン	加圧器逃がしライン	VT-3	25%	
		クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余熱抽出ライン	クロスオーバードレンライン, 抽出ライン, 余熱抽出ライン	VT-3	25%	
		売てんライン	売てんライン	VT-3	25%	
		封水注入ライン	封水注入ライン	VT-3	25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	
		蓄圧注入ライン	蓄圧注入ライン	VT-3	25%	
		高温側低圧注入ライン	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
		低温側低圧注入ライン	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
高温側高圧補助注入ライン	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%			
低温側高圧補助注入ライン	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 5.1 次始期材ポンプ(V/L)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012			玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)	備考	
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法			
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体積	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1			
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャ	VT-1			
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3			
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3			
		{ 支持脚ベースプレート, 基礎ボルト含む }				

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度:高)
6. クラス1弁 (1/3)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
B6.210	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)	体積	代表1台の 25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420,430)	体積	代表1台の 25%	
B6.220	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A,B)	体積	代表1台の 25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)	VT-1	代表1台の 25%	
B6.230	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420,430)	VT-1	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の 25%	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部(ナット, ワッシャ)	VT-1	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420,430)	VT-1	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の 25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(ボルト, ねじみボルト, ナット)	VT-1	代表1台の 25%	
		加圧器安全弁ライン (3V-RC-055,056,057)	VT-1	代表1台の 25%	
		加圧器逃がしライン (3V-RC-054A,054B)	VT-1	代表1台の 25%	
		加圧器逃がしライン (3PCV-452A,452B)	VT-1	代表1台の 25%	
		クロスオーバーレグドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (3V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の 25%	
		クロスオーバーレグドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (3LCV-451,452)	VT-1	代表1台の 25%	
		クロスオーバーレグドレンライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (3V-RC-017)	VT-1	代表1台の 25%	
		売てんライン (3V-CS-233,235)	VT-1	代表1台の 25%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN3-201(保全重要度:高)
6. クラス1弁(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012						
B7.70	B-G-2	蓄圧注入ライン (3V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-1	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)	VT-1	代表1台の25%		
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-050A~D)	VT-1	代表1台の25%		
		弁本体の内表面				
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台		
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-3	代表1台		
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)	VT-3	代表1台		
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-050A~D)	VT-3	代表1台		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 6. クラス1弁(3/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の 25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器逃がしライン (3V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の 25%	
		加圧器逃がしライン (3PCV-452A, B)	VT-3	代表1台の 25%	
		クロスオーバーバレッジドレンライン, 抽出ライン, 余熱抽出ライン (3LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
7. 容器(1/2)

余熱除去冷却器 (管側)		余熱除去冷却器 (管側)		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回					
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%											

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)				玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回			
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ヶ所/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%					
C1.10	C-A	胴側胴の周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ヶ所/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						7.5%			
C2.21	C-B	胴側出入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)				1箇所					
C2.22	C-B	胴側出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)						1箇所			
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	12箇所×1基	PT	代表1基の溶接継手数の7.5% (1箇所)						1箇所			
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×1基	VT-3	代表1基の7.5% (1箇所)				1箇所					

※1 第17回定検以降は維持規格(JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む)) を適用

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 G N 3 - 2 0 1 (保全重要度：高)
7. 容器(2/2)

蒸気発生器 (二次側) 発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 3 号機 検査計画 (10年間)										備 考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理									
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加									
		円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%										
		上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%										
C1.20	C-A	上部胴と上部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%										
C1.30	C-A	下部胴と管板の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%										
C2.21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%										
		蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%										
C2.22	C-B	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%										
		蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%										

格納容器スプレイ冷却器 (管側) 発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 3 号機 検査計画 (10年間)										備 考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	第18回
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%			A:7.5%				クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第17回定検以降DB-ISI側へ検査計画移行)
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						クラス2機器供用期間中検査で管理	クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第17回定検以降DB-ISI側へ検査計画移行)
C4.10	C-D	カーラーボルト	体積	代表1基の7.5%(3本)	36本×2基	UT	代表1基の7.5%(3本)			A:1本	A:1本			クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第17回定検以降DB-ISI側へ検査計画移行)
C4.10	C-D	全ネジボルト	体積	代表1基の7.5%	12本×2基	UT	代表1基の7.5%(1本)			A:1本	A:1本			クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う変更(第17回定検以降DB-ISI側へ検査計画移行)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管(2/8)

項目番号	カテゴリー	釜電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)										玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)				備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回				
C5.11	C-F	余熱除去冷却器出口ロライン(COCS)	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所							
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ロライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)								1箇所		
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ロライン	表面	7.5%	13箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所								
		A原子炉補機冷却水冷却器入口ロライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT+PT	7.5% (1箇所)				1箇所						
		主蒸気逃がしライン(2)	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)									1箇所	
		電動補助給水ポンプ出口ロライン	体積及び表面	7.5%	38箇所	UT+PT	7.5% (3箇所)		--							1箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
		タービン動補給水ポンプ出口ロライン	体積及び表面	7.5%	18箇所	UT+PT	7.5% (2箇所)		--							1箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
		タービン動補給水ポンプ出口連絡ライン	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT+PT	7.5% (1箇所)		--							1箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
		タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(2)	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)		--							1箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
		余熱除去ポンプ入口ロライン	体積及び表面	7.5%													
		余熱除去ポンプ入口ロライン	表面	7.5%													
		余熱除去ポンプ出口ロライン	表面	7.5%													
		余熱除去冷却器出口ロライン	体積及び表面	7.5%													
		高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%													
低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%															
高圧注入ポンプ出口ロライン	体積及び表面	7.5%															
燃料取替用水タンク出口ロライン	表面	7.5%															
格納容器再循環サンプ出口ロライン	表面	7.5%															
主給水ライン	体積及び表面	7.5%													・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		

クラス2 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
8. 配管(3/8)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C5.11	C-F	主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	8箇所	PT	7.5% (1箇所)					
		主蒸気逃がしライン(1)	体積及び表面	7.5%									
		主蒸気逃がしライン(1)	表面	7.5%									
		タービン動補給水ポンプ蒸気入口連絡ライン(1)	表面	7.5%									
C5.12	C-F	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理	6箇所	PT	7.5% (1箇所)					
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%									
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%									
		余熱除去冷却器出口ライン(CCS)	表面	7.5%									
		A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	体積及び表面	7.5%									
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%									
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%									
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%									
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%									
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%									
		低温側高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%									
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%									
封水注入ライン	表面	7.5%											
C5.21	C-F				クラス2機器供用期間中検査で管理	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管(4/8)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)				検査計画 (10年間)	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C5.30	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		封水注入ライン	表面	7.5%		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管(5/8)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	第18回	
												6箇所			RH 3箇所 AN 3箇所
F1.21	F-A	原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	6箇所	VT-3	7.5% (1箇所)		1箇所						
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	VT-3	7.5%	24箇所	VT-3	7.5% (2箇所)			1箇所				1箇所	
		余熱除去冷却器出口ライン (CCWS)	VT-3	7.5%	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)				1箇所				
		格納容器再循環ユニット 入口ライン	VT-3	7.5%	36箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所			1箇所			
		格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	7.5%	57箇所	VT-3	7.5% (6箇所)		1箇所	1箇所	1箇所		1箇所		
		格納容器再循環ユニット出口 海水放出ライン	VT-3	7.5%	44箇所	VT-3	7.5% (4箇所)				1箇所				
		格納容器スプレイライン	VT-3	7.5%	12箇所	VT-3	7.5% (1箇所)		1箇所						・IS1実施範囲見直しにより、第17回定 検より検査対象外
		格納容器スプレイ系統～ 余熱除去系統間のタイライン(2)	VT-3	7.5%	9箇所	VT-3	7.5% (1箇所)				1箇所				・クラス2非破壊試験免除規定適用除外 に伴う設備数変更
		常設電動注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	19箇所	VT-3	7.5% (2箇所)						1箇所		1箇所

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管(6/8)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考				
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	第18回		
F1.21	F-A	炉心注入ライン	VT-3	7.5%	92箇所 RH 91箇所 AN 1箇所	VT-3	7.5% (7箇所)	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加 ・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加		
		主蒸気速がしライン(2)	VT-3	7.5%	4箇所 RH 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)				1箇所					
		電動補助給水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	18箇所 RH 18箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	—	—	—	—	—	—		—	
		タービン動補助給水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	4箇所 RH 3箇所 AN 1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—		—	
		タービン動補助給水ポンプ出口連絡ライン	VT-3	7.5%	3箇所 RH 3箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—		—	
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	5箇所 RH 4箇所 AN 1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—		—	
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%												
		余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	7.5%												
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	7.5%												
		高温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%												
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%												
		高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%												
		高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%												

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管(7/8)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数			検査方法	検査範囲	第13回	第14回		第15回	第16回	第17回
F1.21	F-A	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	20箇所	RH	12箇所	VT-3	7.5% (2箇所)		1箇所				クラス2機器供用期間中検査で管理
		低温側高圧補助注入ライン連絡管	VT-3	7.5%		HS	6箇所								
		高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		SH	2箇所								
		高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	12箇所	RH	6箇所	VT-3	7.5% (1箇所)		1箇所				
		格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	7.5%		HS	4箇所								
		燃料取替用水タンク出口ライン	VT-3	7.5%		SH	2箇所								
		封水注入ライン	VT-3	7.5%	14箇所	RH	14箇所	VT-3	7.5% (2箇所)		1箇所				
F1.21	F-A	格納容器スプレイポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	20箇所	RH	19箇所	VT-3	7.5% (2箇所)				1箇所		クラス2機器供用期間中検査で管理
		格納容器スプレイポンプ出口ライン	VT-3	7.5%		SH	1箇所								
		格納容器スプレイ冷却器入口ライン	VT-3	7.5%	1箇所	RH	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)		1箇所				
		格納容器スプレイ冷却器出口ライン	VT-3	7.5%											
		AM用水消火ライン	VT-3	7.5%											

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
8. 配管 (8/8)

項目番号		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MA1-2008, 2012 (※1)										検査計画 (10年間)		備考										
カテゴリー		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数			検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回									
F1.21	F-A	格納容器スプレイ系統～ 余熱除去系統間のタイライン(1)	VT-3	7.5%	RH	19箇所	VT-3	7.5% (2箇所)				1箇所		クラス2機器供用 期間中検査で管理			・クラス2非破壊試験免除規定適用除外 に伴う変更							
					MS	5箇所																		
					AN	1箇所																		
					クラス2機器供用期間中検査で管理																			
					主給水ライン	VT-3										7.5%								
主蒸気ライン	VT-3	7.5%											・クラス2非破壊試験免除規定適用除外 に伴う追加											
主蒸気逃がしライン(1)	VT-3	7.5%											・クラス2非破壊試験免除規定適用除外 に伴う追加											
タービン動補給水ポンプ 蒸気入口連絡ライン(1)	VT-3	7.5%											・クラス2非破壊試験免除規定適用除外 に伴う追加											

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 9. ボンプ(1/2)

充てんボンプ

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査計画 (10年間)	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け 溶接継手	表面	7.5%	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

余熱除去ボンプ

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査計画 (10年間)	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水ボンプ

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査計画 (10年間)						備考												
		検査の対象箇所	検査方法	設備数	検査範囲	検査方法	第13回	第14回	第15回		第16回	第17回	第18回									
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	A:1箇所														

格納容器スプレイボンプ

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査計画 (10年間)						備考													
		検査の対象箇所	検査方法	設備数	検査範囲	検査方法	第13回	第14回	第15回		第16回	第17回	第18回										
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)							A:1箇所	クラス2機器供用 期間中検査で管理								・クラス2非破壊試験免除除規定適用除外 に伴う変更 (第17回定検以降DB-ISI側 へ検査計画移行)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

9. ボンプ(2/2)

常設電動注入ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考			
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回		第16回	第17回	第18回
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						1箇所	

高圧注入ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考		
			検査方法	検査範囲		検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	第18回
C3.30	C-C	ボンプ支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	7.5%									・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	7.5%									・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
C5.30	C-F	バランスフランジ及びびバランスマスの耐圧部分の溶接継手	表面	7.5%	7.5%									・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%	7.5%									・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	7.5%									・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加

クラス2機器供用期間中検査で管理

電動補助給水ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考			
			検査方法	検査範囲		設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回		第16回	第17回	第18回
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	代表1台の7.5%	7.5%	2箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)							・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	7.5%	4箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加

タービン動補助給水ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	JSME S NAI-2008, 2012 (※1)		検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考			
			検査方法	検査範囲		設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回		第16回	第17回	第18回
C6.10	C-G	ケーシング部の溶接継手	表面	1台の7.5%	7.5%	4箇所×1台	PT	1台の7.5% (1箇所)							・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	1台の7.5%	7.5%	4箇所×1台	VT-3	1台の7.5% (1箇所)							・クラス2非破壊試験免除規定適用除外に伴う追加

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 10. 弁(1/1)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)										玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回						
F1.43	F-A	格納容器再循環ユニット出口ライン (3-TCV-2430, 2431)	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所 (2430)									
		主蒸気逃がしライン(2) (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	VT-3	代表1台の 7.5%	8箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)												
		タービン動補助給水ポンプ 蒸気入口連絡ライン(2) (3V-MS-570A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)												
		余熱除去冷却器出入口ライン (3HCY-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		余熱除去冷却器出入口ライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		高温側高圧補助注入ライン (3V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		低温側高圧補助注入ライン連絡管 (3V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		封水注入ライン (3V-SI-026A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		主蒸気逃がしライン(1) (3V-MS-523A~D)	VT-3	代表1台の 7.5%															
		タービン動補助給水ポンプ 蒸気入口連絡ライン(1) (3V-MS-575A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%															

クラス2 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 個 所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備 考	
		系 統 名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回		
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	VT-2	●	●	●	●	○	○		
B15.20			加圧器	VT-2	●	●	●	●	○	○		
B15.30			蒸気発生器	VT-2	●	●	●	●	○	○		
B15.50			クラス1配管	VT-2	●	●	●	●	○	○		
B15.60			一次冷却材ポンプ	VT-2	●	●	●	●	○	○		
B15.70			クラス1弁	VT-2	●	●	●	●	○	○		
C7.30, C7.70	C-H	化学体積制御系統	B充てんポンプ自己冷却水供給ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B充てんポンプ自己冷却水戻りライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70			体積制御タンク及びび出入ロライン	VT-2				●				
C7.10, C7.30			A充てんポンプ出ロライン	VT-2		●						
C7.50, C7.70			B充てんポンプ出ロライン	VT-2		●						
C7.30, C7.50			C充てんポンプ出ロ及びび排水注入ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.50			Aほう酸ポンプ入ロライン	VT-2						○		
C7.10, C7.30			Bほう酸ポンプ入ロライン	VT-2							○	
C7.10, C7.30			Aほう酸ポンプ出ロライン	VT-2		●						
C7.30, C7.50			Bほう酸ポンプ出ロライン	VT-2		●						
C7.30, C7.50			Bほう酸ポンプ出ロライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70			B高圧注入ポンプ海水排水ライン	VT-2		●						
C7.30, C7.70			A, B高圧注入ポンプ入ロライン	VT-2						○		
C7.30, C7.50			A高圧注入ポンプ出ロライン(1)	VT-2					●			
C7.70	A高圧注入ポンプ出ロライン(2)	VT-2					●					
C7.30, C7.70	B高圧注入ポンプ出ロライン(1)	VT-2						○				
C7.30, C7.50	B高圧注入ポンプ出ロライン(2)	VT-2						○				
C7.30, C7.70	A格納容器再循環サンポン出ロライン	VT-2						○				
C7.30, C7.70	B格納容器再循環サンポン出ロライン	VT-2						○				
C7.10, C7.30	A蓄圧タンク及びび出入ロライン	VT-2		●								
C7.70	B蓄圧タンク及びび出入ロライン	VT-2		●								
C7.10, C7.30	C蓄圧タンク及びび出入ロライン	VT-2							○			
C7.70	D蓄圧タンク及びび出入ロライン	VT-2							○			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考			
		系統名	ライン名称			第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回		
C7.30, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統 タイライン	格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間の タイライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			A余熱除去ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2						○			
C7.30, C7.70			B余熱除去ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A余熱除去ポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70			A余熱除去ポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B余熱除去ポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2					●				
C7.30, C7.70	C-H	可搬型ポンプ用送水ライン(1)	B余熱除去ポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2					●				
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.70			A格納容器スプレイポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70			B格納容器スプレイポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A格納容器スプレイポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2					●				
C7.30, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A格納容器スプレイポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B格納容器スプレイポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.70			B格納容器スプレイポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2									
C7.30, C7.70			常設電動注入ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2								●	
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2							●		
C7.10, C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク及び出入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2								●	
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A蒸気発生器給水入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2								●	
C7.10, C7.30 C7.70			B蒸気発生器給水入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									●
C7.10, C7.30 C7.70			C蒸気発生器給水入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									●
C7.10, C7.30 C7.70			D蒸気発生器給水入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									○
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	補助給水系統	補助給水ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2								●	
C7.30, C7.50 C7.70			A電動補助給水ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2									●
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	B電動補助給水ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2								●	
C7.30, C7.50 C7.70			タービン動補助給水ポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2									○
C7.30, C7.70	C-H		タービン動補助給水ポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2								○	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査 (3/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画 (10年間)						備考		
		系統名	ライン名称			第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回			
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統	A 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			B 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2		●							
C7.30, C7.70			C 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○				
C7.30	C-H	換気空調系統	中央制御室換気空調ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			技術基準規則第58条第2項のただし書による「他の方法」として外観検査を実施	
C7.30, C7.70			A ニュラス空気浄化ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○			
C7.30, C7.70			代替緊急時対策所加圧ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70			代替緊急時対策所加圧ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-3							○		
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統	A 原子炉補機冷却水冷却器海水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			A 格納容器再循環ユニット屋外放出ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環ユニット屋外放出ライン	SA時の使用圧力	VT-2					●				
C7.30, C7.70			原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	SA時の使用圧力	VT-2						●			
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.10, C7.30			A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.50, C7.70			C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								●	
C7.30, C7.70			原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						●			
C7.10, C7.30	C-H	原子炉補機冷却海水系統	A, B 海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					●				
C7.50, C7.70			C, D 海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70														

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目 番号	カテ ゴリ	検 査 対 象 個 所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備 考	
		系 統 名	ライン名称		検査圧力	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回
C7.30, C7.70			A加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力				●				
C7.30, C7.70			B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力				●				
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	アニユラス空気浄化ファン弁用制御用空気 ライン	SA時の使用圧力					○			
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン (1)	SA時の使用圧力			●					
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン (2)	SA時の使用圧力			●					
C7.30, C7.70			A制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力			●					
C7.30, C7.70			B制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力				●				
C7.10	C-H	ディーゼル発電機 始動用空気系統	Aディーゼル発電機始動空気ライン	SA時の使用圧力				●				
C7.10			Bディーゼル発電機始動空気ライン	SA時の使用圧力						○		
C7.30, C7.70	C-H	一次系サンプリング系統	事故時サンプリングライン(1)	SA時の使用圧力				●				
C7.10, C7.30 C7.70			事故時サンプリングライン(2)	SA時の使用圧力				●				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1.2. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
-	-	配管の円周方向溶接継手			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

第1サイクル

重大事故等クラス3機器漏えい検査 GN3-228-N1 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	設備数	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年)							備考					
		ライン(設備)名	機器名			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025	2026	2027	2028	
D2.30	D-B		サクションユニット(3,4号機共用)	VT-2	5													
D2.30	D-B		可搬型ディーゼル注入ポンプ入口ライン給水用5mホース出口接続口～可搬型ディーゼル注入ポンプ(3,4号機共用)	VT-2	6							●						
D2.30	D-B	可搬型ポンプ用送水ライン	No.5,6可搬型ディーゼル注入ポンプ～可搬型ディーゼル注入ポンプ出口ライン送水用4mホース入口接続口(3,4号機共用)	VT-2	2								○					
D2.30	D-B		接続用中継ユニット(3,4号機共用)	VT-2	5								○					
D2.30	D-B	使用済燃料ピット補給用給水ライン	接続用中継ユニット出口接続口～接続用中継ユニット出口ライン使用済燃料ピットスプレイ用5mホース入口接続口(3,4号機共用)	VT-2	5									○				
D2.30	D-B	代替緊急時対策所加圧ライン	空気ポンベ(代替緊急時対策所用)～代替緊急時対策所加圧ラインフレキシブルホース接続口(3,4号機共用)	VT-2	25												○	
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	空素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン空素供給用3.8mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2						●							
D2.30	D-B	A,B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	空素ポンベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空素供給用3.5m,4mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3						●							
D2.10	D-B		中容量発電機車燃料油サービスタンク(3,4号機共用)	VT-2	2							●						
D2.10	D-B		高圧発電機車燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	4													
D2.10	D-B		直流電源用発電機燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	6								○					
D2.10	D-B	非常用電源設備	代替緊急時対策所用発電機燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	3										○			
D2.10	D-B		水中ポンプ用発電機燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	10											○		
D2.10	D-B		使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム発電機燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	4													○
D2.10	D-B		可搬型ディーゼル注入ポンプ燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	6													
D2.10	D-B		移動式大容量ポンプ車燃料タンク(3,4号機共用)	VT-2	4													

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S-NAL-2012 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
			体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			体積及び表面	100%		
			体積及び表面	100%		
			VT-1	100%		
			体積	100%		
			体積	100%		
			VT-1	100%		
			VT-1	25%		

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
		[Redacted]	体積又は表面	最外周の25%	[Redacted]
			VT-3	25%	
			VT-3	100%	
			VT-3	100%	
			VT-3	100%	
			VT-3	100%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考

玄海原子力発電所3号機検査計画

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	
	体 積	体 積	5%	
	体 積	体 積	5%	
	体 積	体 積	10%	
	体 積	体 積	10%	
	体 積	体 積	10%	
	体 積	体 積	5%	
	体 積	体 積	5%	
	体 積	管台数の 25%	管台数の 25%	
	体 積	管台数の 25%	管台数の 25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目 番号	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査範囲	備考
	検査の 対象箇所	検査方法		
		体積及び表面	溶接継手 (管台) 数の25%	
		VT-1	25%	
		体積	7.5%	
		VT-3	25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理				

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
		[Redacted]	体積	代表1基の25%	[Redacted]
			体積	代表1基の25%	
			体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%	
			VT-1	代表1基の25%	
			表面	代表1基の7.5%	
			体積	100%	
			VT-3	代表1基の25%	
クラス1 機器供用期間中検査で管理					

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
				UT実施箇所100%	
クラス1 機器供用期間中検査で管理					

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目 番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査方法	検査範囲	備考
	カテゴリー	検査の対象箇所			
			VT-1	25%	北海道電力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1 機器供用期間中検査で管理
			体積	25%	
			体積	25%	
			体積	25%	
			体積	25%	
			体積	25%	
			表面	25%	
			表面	25%	
			体積	25%	
			表面	25%	
			表面	25%	
			表面	25%	
			表面	25%	
			VT-3	25%	
			VT-3	25%	
			VT-3	25%	
			VT-3	25%	
			VT-3	25%	

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査計画 (10年間)	備考	
	検査の対象箇所	検査方法			検査範囲
		体積	クラス1機器供用期間中検査で管理		
		VT-1		代表1台の 25%	
		VT-1		代表1台の 25%	
		VT-3		代表1台の 100%	
		VT-3		代表1台の 25%	

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カーゴ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MA1-2012	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
				VT-1	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				VT-1	代表1台の25%		
				VT-1	代表1台の25%		
				VT-3	代表1台		
				VT-3	代表1台の25%		
				VT-3	代表1台の25%		

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	巻電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回		第23回	
			体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2シーム/基 × 1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	7.5%								
			体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2シーム/基 × 1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%			7.5%						
			表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	1箇所/基 × 1基	PT	代表1基の溶接継手数の7.5% (1箇所)									1箇所

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012	玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)						備考								
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲		第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	
			表面	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		
			表面	表面	7.5%	28箇所	PT	7.5% (3箇所)		1箇所					1箇所		
			表面	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						
			表面	表面	7.5%				クラス2機器供用期間中検査で管理								
			表面	表面	7.5%												
			検査方法 体積及び表面	検査範囲	7.5%	62箇所	検査方法 UT・PT	7.5% (6箇所)		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
			検査方法 体積及び表面	検査範囲	7.5%	237箇所	検査方法 UT・PT	7.5% (18箇所)			3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	
			検査方法 体積及び表面	検査範囲	7.5%	86箇所	検査方法 UT・PT	7.5% (7箇所)			2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
			表面	表面	7.5%				クラス2機器供用期間中検査で管理								
			表面	表面	7.5%												
			表面	表面	7.5%												
			表面	表面	7.5%												
			表面	表面	7.5%												

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012	玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)										備考					
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第17回	第18回	第19回	第20回		第21回	第22回	第23回		
				VT-3	7.5%	50箇所	VT-3	7.5% (4箇所)		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				VT-3	7.5%	202箇所	VT-3	7.5% (16箇所)		3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	2箇所	2箇所	
				VT-3	7.5%	52箇所	VT-3	7.5% (4箇所)		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				VT-3	7.5%	29箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所		
				VT-3	7.5%				クラス2機器供用期間中検査で管理									
				VT-3	7.5%													
				VT-3	7.5%													

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度:高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012		玄海原子力発電所 3号機 検査計画 (10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回		第23回			
			表面	7.5%	12箇所 ×2台	PT	7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所					
			体積	代表1台の 7.5%	12本 ×2台	UT	代表1台の 7.5% (1本)			1本								
			表面	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)								1箇所			
			VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)							1箇所				

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度:高)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考				
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	第17回	第18回	第19回		第20回	第21回	第22回	第23回
				VT-3	代表1台の7.5%	8箇所	MS 6箇所	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						1箇所		
				VT-3	代表1台の7.5%	RH 2箇所											
				VT-3	代表1台の7.5%												
				VT-3	代表1台の7.5%												

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス1機器供用期間中検査 GN3-200 (保全重要度：高)

項目 番号	カテ ゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)							備 考			
		系 統 名	ライン名称			第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回				
					VT-2				○							
					VT-2							○				
					VT-2			○								
					VT-2										○	

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等) 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・緊急時対策所の居住性確認検査

○また、第18サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

表－１ 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補) に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸 透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及 び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

別紙－３のとおり

添付書類二

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

1. 保全活動管理指標（系統レベル）

No.	系統名	変更理由	該当ページ
1	燃料取替用水系統	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「低」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<1回/サイクルから<2回/サイクルへ変更した。	4
2	特定重大事故等対処施設	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、保全活動管理指標を追加した。	9

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2) 事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル <1回/サイクル	— —	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <1時間/2サイクル B トレイン <1時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2) 未臨界維持機能 (MS-1)	<2回/サイクル <1回/サイクル	— <1時間/2サイクル	
燃料取替用水系統	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル		
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	
燃料取扱設備	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却耐圧カバングタリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (放射性物質を貯蔵する機能) (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (格納容器給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
換気空調設備 (排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-2)	<2回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <12時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<2回/サイクル	—	
	未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機室冷却系)	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (燃料取扱室給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
重大事故等対処設備 特定重大事故等対処施設	監視測定設備	<2回/サイクル	—	
	緊急時対策所 (代替緊急時対策所) (SA-3)	<2回/サイクル	代替電源からの給電 <720時間/2サイクル 居住性の確保 <240時間/2サイクル 代替緊急時対策所エリアモニタ	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	その他の設備	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
			<1回/サイクル	
	代替注入 (炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ) をするための設備 (SA-1)	<1回/サイクル		
	フィルタベントをすするための設備 (SA-1)	<1回/サイクル		
			<1回/サイクル	
	緊急時制御室 (SA-1)	<1回/サイクル		
	電源設備	<1回/サイクル		
計表設備	<1回/サイクル			
通信連絡設備	<2回/サイクル			

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	原子炉冷却系統施設(主蒸気・主給水設備) 3V-FW-520A, 520B, 520C, 520D 3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	至近の点検における劣化状況や機器の設置環境等から総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「130M」から「65M」に変更する。	13/106
2	放射性廃棄物の廃棄施設(気体、液体又は固体 廃棄物処理設備) 3LCV-1000 3号 C/V冷却材ドレンポンプ 出口ライン内隔離弁	至近の点検における劣化状況や機器の設置環境等から総合的に評価し、分解点検の頻度を「130M」から「52M」に変更する。	48/106
3	原子炉格納施設(原子炉格納容器) 電線管貫通部	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 (実施数を「46個」から「48個」に変更する)	71/106
4	原子炉格納施設(原子炉格納容器) 原子炉格納容器隔離弁	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 (実施数を「52個」から「60個」に変更する)	71/106
5	原子炉施設(その他設備) Ni合金溶接部 1式	原子炉容器出口管台溶接部保全工事及び原子炉容器上部ふた取替工事による当該溶接部の690系Ni合金化に伴い、維持規格に従い非破壊検査頻度を左記のとおり変更する。(非破壊試験頻度:10年間、外観検査頻度:5年間とする)	75/106
6	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) A, B 2次系純水タンク	至近の点検における劣化状況や類似機器の保全状況等から総合的に評価し、開放点検の頻度を「5Y」から「6Y」に変更する。	85/106
7	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 3V-FW-574A, 574B, 574C, 574D 3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	至近の点検における劣化状況や類似機器の保全状況等から総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「130M」から「65M」に変更する。	90/106
8	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 発電機保護装置(継電器)	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	100/106
9	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	100/106
10	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 予備変圧器保護装置(継電器)	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	100/106
11	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 母線保護装置(継電器)	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	101/106
12	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備)(発電機、変圧器他) 電流計(500kV玄海幹線2L北線)(3, 4号共用)	玄海3号機の設備点検に合わせて点検する計画としていたが、点検時の作業性等を総合的に評価し、点検時期を玄海4号機の設備点検時に変更することから、左記項目を玄海3号機の点検計画から削除する。	101/106
13	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)(その他の電源装置) 3-3C, 3-3D 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	非常用予備発電装置機能検査時の3A空調用冷凍機の起動遅れ事象の是正処置について検討を行った結果、当該機器の遮断器に生じた酸化被膜等による接触不良が原因と考えられたため、簡易点検(カリス再塗付、接点抵抗測定等、頻度:1C)を今回の点検計画に追加する。	103/106

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
14	火災防護設備 (その他設備) ハロン連動ダンパ	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。(実施数を「53台」から「54台」に変更する)	104/106

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備) 使用済燃料ピット状態監視カメラ 2台	当該点検の実施時期が定検停止中になることが多いことから、点検頻度(点検時期)の見直しについて検討した結果、作業性などから、今後も定検停止中の点検になることが多いと考えられることから、特性試験頻度を「1Y」から「13M」に変更する。	1/15
2	非常用電源設備 蓄電池 (3系統目)	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	15/15
3	非常用電源設備 充電器盤 (3系統目蓄電池用)	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	15/15
4	非常用電源設備 蓄電池 (3系統目) 切替盤	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	15/15
5	非常用電源設備 計装電源盤 (3系統目蓄電池用)	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	15/15
6	非常用電源設備 計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 1式	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	15/15
7	浸水防護施設 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備) 原子炉周辺建屋堰 (3,4号機共用) 3E-1~3E-4	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事に伴い設置した左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	15/15

3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	1/14
2		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/14
3		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/14
4		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/14
5		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	1/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
6		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/14
7		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/14
8		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/14
9		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/14
10		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/14
11		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	1/14
12		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
13		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
14		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
15		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
16		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
17		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
18		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
19		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
20		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
21		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
22		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	2/14
23		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
24		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
25		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
26		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
27		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
28		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
29		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
30		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
31		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
32		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	3/14
33		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
34		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
35		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
36		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
37		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
38		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
39		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
40		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
41		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
42		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
43		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	4/14
44		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	4/14
45		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
46		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	4/14
47		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	4/14
48		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
49		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
50		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
51		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
52		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	4/14
53		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	5/14
54		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	5/14
55		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/14
56		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/14
57		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/14
58		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/14
59		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/14
60		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5/14
61		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	5, 6/14
62		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
63		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
64		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
65		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
66		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
67		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	6/14
68		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	6/14
69		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
70		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
71		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
72		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	6/14
73		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14
74		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14
75		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14
76		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14
77		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14
78		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14
79		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
80		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	7, 8/14
81		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/14
82		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8/14
83		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	8, 9/14
84		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/14
85		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/14
86		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/14
87		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/14
88		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/14
89		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	9/14
90		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
91		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
92		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
93		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
94		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
95		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
96		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
97		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
98		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	10/14
99		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
100		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
101		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
102		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
103		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
104		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
105		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
106		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
107		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	11/14
108		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
109		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
110		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
111		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
112		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
113		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
114		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
115		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
116		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
117		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
118		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	12/14
119		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
120		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
121		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
122		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
123		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
124		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
125		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
126		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
127		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
128		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
129		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
130		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
131		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
132		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
133		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
134		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
135		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
136		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
137		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
138		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14
139		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	13/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
140		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
141		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
142		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
143		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
144		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
145		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
146		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
147		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
148		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
149		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
150		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
151		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
152		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
153		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
154		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
155		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
156		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
157		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14
158		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	14/14

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	3FCV-481 3 C 主給水バイパス開閉弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		52M			
		駆動部点検		52M			
		分解点検		52M			
	3FCV-491 3 D 主給水バイパス開閉弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		52M			
		簡易点検 (ドラフト・キャ取替)		52M			
		駆動部点検		65M			
	3V-FW-520A 3 A 主給水隔離弁	分解点検	高	130M		GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (ドラフト・キャ取替)		52M			
		駆動部点検		65M			
3V-FW-520B 3 B 主給水隔離弁	分解点検	高	130M		GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M				
	簡易点検 (ドラフト・キャ取替)		52M				
	駆動部点検		65M				
3V-FW-520C 3 C 主給水隔離弁	分解点検	高	130M		GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M				
	簡易点検 (ドラフト・キャ取替)		52M				
	駆動部点検		65M				
3V-FW-520D 3 D 主給水隔離弁	分解点検	高	130M		GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	電動機分解点検		130M				
	簡易点検 (ドラフト・キャ取替)		52M				
	駆動部点検		65M				
原子炉冷却系統施設 (余熱除去設備)	3 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M			
		開放点検		130M			
		簡易点検 (油入替他)		13M			
		分解点検		52M	GNS-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GNS-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)	
	3 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M			
		開放点検		130M			
		簡易点検 (油入替他)		13M			
		分解点検		52M	GNS-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GNS-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)	
	3 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M			
		分解点検		52M			
		簡易点検 (油入替他)		13M			
		分解点検		52M	GNS-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GNS-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)	
3 B 余熱除去ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M				
	分解点検		52M				
	簡易点検 (油入替他)		13M				
	分解点検		52M	GNS-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GNS-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)		
3 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M				
	分解点検		52M				

機器又は系統名	実施機(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術					
3 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	3 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	GNS-97 液体廃棄物処理系設備検査						
		分解点検		78M							
		機能・性能試験		6C							
		分解点検		39M							
		機能・性能試験		3C							
		簡易点検 (油入替他)		13M							
		分解点検		78M							
		機能・性能試験		6C							
		分解点検		39M							
		機能・性能試験		3C							
		3 B 格納容器冷却材ドレンポンプ		3 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機			簡易点検	低	6Y	GNS-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
							機能・性能試験		6F		
分解点検	5Y										
機能・性能試験	5F										
分解点検	6Y										
機能・性能試験	6F										
分解点検	5Y										
機能・性能試験	5F										
分解点検	6Y										
機能・性能試験	6F										
A 廃棄物処理建屋サンプポンプ	A 廃棄物処理建屋サンプポンプ用電動機		簡易点検		高	130M	GNS-97 液体廃棄物処理系設備検査		プラント運転中		
			機能・性能試験			65M					
		分解点検	130M								
		機能・性能試験	65M								
		分解点検	130M								
		機能・性能試験	65M								
		分解点検	130M								
		機能・性能試験	65M								
		分解点検	130M								
		機能・性能試験	65M								
		B 廃棄物処理建屋サンプポンプ	B 廃棄物処理建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検		高		130M		GNS-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
				機能・性能試験				65M			
分解点検	130M										
機能・性能試験	65M										
分解点検	130M										
機能・性能試験	65M										
分解点検	130M										
機能・性能試験	65M										
分解点検	130M										
機能・性能試験	65M										
3V-WL-088 3号 CVD T G.Aライン内隔離弁	3号 CVD T ベントライン内隔離弁			簡易点検	高		52M	GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
				分解点検			52M				
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		3V-WL-089 3号 CVD T G.Aライン外隔離弁	3号 CVD T ベントライン外隔離弁	簡易点検		高	52M			GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
3V-WL-093 3号 CVD T ベントライン内隔離弁	3号 CVD T ベントライン内隔離弁			簡易点検	高		52M	GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		3V-WL-094 3号 CVD T ベントライン外隔離弁	3号 CVD T 室素供給ライン外隔離弁	簡易点検		高	52M			GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
3V-WL-143 3号 C/Vサンプポンプ出口ライン内隔離弁	3号 C/Vサンプポンプ出口ライン内隔離弁			簡易点検	高		52M	GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		3V-WL-144 3号 C/Vサンプポンプ出口ライン外隔離弁	3号 C/Vサンプポンプ出口ライン外隔離弁	簡易点検		高	52M			GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
分解点検	52M										
機能・性能試験	52M										
3LCV-1000 3号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁	3号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁			簡易点検	高		52M	GNS-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								
		分解点検	52M								
		機能・性能試験	52M								

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術		
原子炉格納施設 (圧力 vessel 設備その他の安全設備)	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	GNS-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
		開放点検		13M				
		分解点検 (インシデント及び駆動部)		65M				
		漏えい試験		1C			GNS-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M				
		分解点検 (インシデント及び駆動部)		65M				
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	GNS-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
		開放点検		13M				
	配管貫通部 8箇所, 電源貫通部 48箇所	漏えい試験	高	1C	GNS-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
		開放点検		13M				
	燃料移送管	漏えい試験	高	1C	GNS-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
		開放点検		13M				
	原子炉格納容器隔離弁 60箇所	漏えい試験	高	1C	GNS-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
		開放点検		13M				
	原子炉格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・モータ駆動弁 6個 ・新設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	GNS-49 原子炉格納容器安全系機能検査			
		簡易点検 (油入替他)		13M				
	3 A 格納容器スプレイポンプ	3 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	分解点検 (圧力 vessel 取替)	高	52M		(振動診断: 1ヶ月)	
			分解点検		104M			
			分解点検		13M			
	3 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	3 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	78M		(振動診断: 1ヶ月)	
			分解点検		13M			
			分解点検		78M			
	3 B 格納容器スプレイポンプ	3 B 格納容器スプレイポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)	
			分解点検 (圧力 vessel 取替)		52M			
			分解点検		104M			
	3 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	3 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	GNS-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GNS-203 その他原子炉注水安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)	
分解点検			78M					
分解点検			130M					
3 A 格納容器スプレイ冷却器	3 A 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M				
		開放点検		130M				
		開放点検		130M				
3 B 格納容器スプレイ冷却器	3 B 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M				
		開放点検		130M				
		開放点検		130M				
3号より蒸除去薬品タンク	3号より蒸除去薬品タンク	開放点検	高	130M				
		開放点検		130M				
		開放点検		130M				
3W-CPT-101 より蒸除去薬品タンク真空逃がし弁	3W-CPT-101 より蒸除去薬品タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	GNS-88 1次系真空破壊弁検査			
		分解点検		130M				
		分解点検		130M				
3W-CPT-102 より蒸除去薬品タンク真空逃がし弁	3W-CPT-102 より蒸除去薬品タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	GNS-88 1次系真空破壊弁検査			
		分解点検		130M				
		分解点検		130M				
3W-CPT-001A 3 A C/V スプレイポンプ RWS-T 側入口弁	3W-CPT-001A 3 A C/V スプレイポンプ RWS-T 側入口弁	駆動部点検	高	130M				
		分解点検		130M				
		電動機分解点検		130M				

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉施設 (その他設備)	3W-SS-658 3号C/V閉閉気ガスサンプラライ線逆止弁	分解点検 駆動部点検	低	130M 130M	GN3-87 1次系逆止弁検査	
	3W-SS-691 3号C/V閉閉気ガスサンプラ線リライン外漏離弁	分解点検 機能・性能試験	高	65M 5C	GN3-85 1次系弁検査	
原子炉施設 (その他設備)	クラス1機器 (供用閉閉中検査対象) 1式	非破壊試験 漏えい試験	高	10年間 1C	GN3-1 クラス1機器供用閉閉中検査	
	N1基合金溶接部 1式	非破壊試験 外観検査 (X線)	高	7年間-10年間 ※ 5年間-10年間 4C	GN3-1 クラス1機器供用閉閉中検査	
	クラス2機器 (供用閉閉中検査対象) 1式	非破壊試験 漏えい試験	高	10年間	GN3-5 クラス2機器供用閉閉中検査	
	クラス2管 (原子炉格納容器内)のうち 一次炉材と同圧・同径の配管が配れる系統 1式	非破壊試験	高	GN3-99 クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査		
	C/V E.L. - 4.7 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査		
	C/V E.L. 3.7 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査		
	C/V E.L. 1.1.3 m以上 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査		
	A/B E.L. - 1.8.0 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査		
	A/B E.L. - 1.8.0 m (中間床) 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査		
	A/B E.L. - 1.8.0 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 1.3.0 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 1.1.0 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 1.1.0 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 1.1.0 m (中間床) 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
R/B E.L. - 1.3.0 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 1.1.0 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
R/B E.L. - 5.2 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 3.5 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 3.5 m (中間床) 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
R/B E.L. - 5.2 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. - 3.5 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
R/B E.L. 3.7 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. 3.7 m 【管内】 (RST/β E.L. 0.0m)	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
R/B E.L. 3.7 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. 3.7 m 【管外】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			
R/B E.L. 1.1.3 m 【管内】	外観点検	高	GN3-103 耐震健全性検査			

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	簡易点検 (プラグアウト/取り替え他)	低	13M	GN3-121 2次系ポンプ分解検査		
		分解点検		39M			
	3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	39M		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		26M			
	3 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	分解点検	低	26M	2C	GN3-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
		機能・性能試験		13M			
	3 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	26M	52M		(振動診断：1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M			
	3 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	分解点検	低	26M	2C	GN3-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
		機能・性能試験		13M			
	3 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	26M	52M		(振動診断：1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M			
3 A 循環水ポンプ	分解点検	低	13M	26M			
	機能・性能試験		2C				
3 A 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (プラグアウト/取り替え他)	低	13M	26M		(振動診断：1ヶ月)	
	普通点検 (軸受点検)		52M				
3 B 循環水ポンプ	分解点検	低	13M	26M			
	機能・性能試験		2C				
3 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (プラグアウト/取り替え他)	低	13M	26M		(振動診断：1ヶ月)	
	普通点検 (軸受点検)		52M				
純水装置樹脂塔 A系	開放点検	低	3Y	3Y		プラント運転中	
	開放点検		3Y				
純水装置樹脂塔 B系	開放点検	低	3Y	3Y		プラント運転中	
	開放点検		3Y				
純水装置樹脂塔 C系	開放点検	低	3Y	3Y		プラント運転中	
	開放点検		3Y				
A 2次系純水タンク	開放点検	低	6Y	6Y		プラント運転中	
	開放点検		6Y				
B 2次系純水タンク	開放点検	低	26M	26M		プラント運転中	
	開放点検		26M				
3 A 部分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M	26M		プラント運転中	
	開放点検		26M				
3 B 部分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M	26M		プラント運転中	
	開放点検		26M				
3 C 部分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M	26M		プラント運転中	
	開放点検		26M				

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
3V-FW-568A 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁A 3V-FW-568B 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁B 3V-FW-568C 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁C 3V-FW-568D 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁D 3V-FW-573A 3A 補助給水逆止弁 3V-FW-573B 3B 補助給水逆止弁 3V-FW-573C 3C 補助給水逆止弁 3V-FW-573D 3D 補助給水逆止弁	3V-FW-568A 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁A 3V-FW-568B 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁B 3V-FW-568C 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁C 3V-FW-568D 3号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁D 3V-FW-573A 3A 補助給水逆止弁 3V-FW-573B 3B 補助給水逆止弁 3V-FW-573C 3C 補助給水逆止弁 3V-FW-573D 3D 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
		分解点検	高	39M			
3V-FW-574A 3A 補助給水隔離弁	3V-FW-574A 3A 補助給水隔離弁	簡易点検 (スタートボタン取替)	高	65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (スタートボタン取替)		65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (スタートボタン取替)		65M			
		駆動部点検		65M			
分解点検	130M						
機能・性能試験	10C	GN3-85 1次系弁検査					
電動機分解点検	130M						
3V-FW-577C 3C 補助給水隔離弁	3V-FW-577C 3C 補助給水隔離弁	簡易点検 (スタートボタン取替)	高	65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (スタートボタン取替)		65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (スタートボタン取替)		65M			
		駆動部点検		65M			
分解点検	130M						
機能・性能試験	10C	GN3-85 1次系弁検査					
電動機分解点検	130M						
3V-FW-580 3号 復水タンクM/D AFWPP 逆止弁	3V-FW-580 3号 復水タンクM/D AFWPP 逆止弁	簡易点検 (スタートボタン取替)	高	65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (スタートボタン取替)		65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		簡易点検 (スタートボタン取替)		65M			
		駆動部点検		65M			
分解点検	130M						
機能・性能試験	10C	GN3-85 1次系弁検査					
電動機分解点検	130M						

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	3V-DG-433B 3 B 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	GN3-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
		外観点検		10C		
	3V-DG-433A 3 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	GN3-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
		外観点検		10C		
	3V-DG-433B 3 B 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	GN3-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
		外観点検		10C		
	3V-DG-015A 3 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M		
		取替	高	65M		
		普通点検 (軸受点検)	低	26M		
	発電機	分解点検	低	78M	GN3-129 蒸気タービン開放検査	
		機能・性能試験 (組立検査)		1C		
		普通点検 (軸受点検他)		26M		
	励磁機	分解点検	低	78M		
		特性試験		44M		
発電機保潔装置 (線電器)	普通点検 (特性試験他)	高	13M			
	分解点検		195M			
	普通点検 (特性試験他)		13M			
主変圧器	分解点検	高	13M			
	普通点検 (特性試験他)		195M			
所内変圧器	分解点検	低	1Y		プラント運転中	
	普通点検 (特性試験他)		15Y			
予備変圧器	特性試験	低	26M			
	特性試験		44			
主変圧器→所内変圧器保潔装置 (線電器)	普通点検 (特性試験他)	低	13M			
	分解点検		156M			
予備変圧器保潔装置 (線電器)	普通点検 (特性試験他)	低	13M			
	分解点検		156M			
1 Lユニット	普通点検 (特性試験他)	高	13M			
	分解点検		156M			
3MTユニット	普通点検 (特性試験他)	高	13M			
	分解点検		156M			

電機停止口又はプラント運転中

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	E Trユニット	普通点検 (特性試験他) 分解点検	低	13M 12Y		プラント運転中
	3 C 充電器	機能・性能試験	高	1C		
	3 C ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C		
	3 C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C		
	母線保護装置 (継電器)	特性試験	低	78M		
	送電線保護装置 (継電器)	特性試験	低	78M		
	予備電源保護装置 (継電器)	特性試験	低	6Y		プラント運転中
	原子炉弁装置 (3, 4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	電流計 (500kV 交換線II) (3, 4号機共用)	特性試験	低	26M		
	電流計 (66kV 交換線II) (3, 4号機共用)	特性試験	低	26M		
	電流計 (220kV 予備電源線) (3, 4号機共用)	特性試験	低	2Y		プラント運転中
	遮断器 4-3 AEG	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	遮断器 4-3 BEG	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	6. 6 kV 4-3 C母線	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 kV 4-3 C母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 kV 4-3 C母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 kV 4-3 D母線	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 kV 4-3 D母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 kV 4-3 D母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	受電遮断器 4-3 EC	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	受電遮断器 4-3 ED	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	受電遮断器 4-3 HC	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	受電遮断器 4-3 HD	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	遮断器 3-3 C1H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	遮断器 3-3 C2H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	3-3C 440Vパワーセンタ (安全系遮断器)	簡易点検	高	1C			
		機能・性能試験		2C			
		劣勢孤点検		78M			
	3-3D 440Vパワーセンタ (安全系遮断器)	簡易点検	高	1C			
		機能・性能試験		2C			
		劣勢孤点検		78M			
	所内電源保護装置 (継電器)	3C1 原子炉コントロールセンタ	特性試験	高	28M		
			機能・性能試験	高	6C		
			機能・性能試験	高	6C		
			機能・性能試験	高	6C		
			機能・性能試験	高	6C		
			機能・性能試験	高	6C		
機能・性能試験			高	6C			
機能・性能試験			高	6C			
機能・性能試験			高	6C			
機能・性能試験			高	6C			
機能・性能試験			高	6C			
機能・性能試験			高	6C			
3A デイジーセル発電機コントロールセンタ	3B デイジーセル発電機コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C			
		機能・性能試験	高	6C			
		機能・性能試験	高	16C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
3A 蓄電池 (安全防護系用)	3B 直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	1C	GN3-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験	高	1C	GN3-223 直流電源系作動検査		
		機能・性能試験	高	16C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		所内電源保護装置 (継電器)	直流分電盤 (安全系)	特性試験	高	28M	
機能・性能試験	高			16C			
機能・性能試験	高			16C			
機能・性能試験	高			16C			
機能・性能試験	高			1C			
機能・性能試験	高			1C			
機能・性能試験	高			1C			
機能・性能試験	高			1C			
機能・性能試験	高			1C			
機能・性能試験	高			1C			
機能・性能試験	高			1C			
火気防護設備 (消火設備)	電動消火ポンプ (3,4号機共用)			分解点検	低	1Y	GN3-112 インバータ機能検査
		分解点検	低	10Y		定検停止中又はブランド運転中	
		分解点検	低	1Y		定検停止中又はブランド運転中	
		分解点検	低	10Y		定検停止中又はブランド運転中	
		分解点検	低	1Y		定検停止中又はブランド運転中	
		開放点検	低	10Y		定検停止中又はブランド運転中	

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
火災防護設備 (その他設備)	B原水タンク (3, 4号機共用)	開放点検	低	10Y		定検停止中又はプラント運転中	
	ハロン消火設備 (3, 4号本館建屋) (3, 4号機共用)	機能・性能試験	低	1C			
	ハロン消火設備 (種固体焼身炉建屋)	機能・性能試験	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	ハロン消火設備 (廃棄物処理建屋)	機能・性能試験	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	二酸化炭素自動消火設備 (D/G)	機能・性能試験	低	1C			
	水噴霧消火設備 (WD/B) (3, 4号機共用)	分解点検 機能・性能試験	低	10Y 1F		定検停止中又はプラント運転中	
	泡消火設備 (4-SW) (3, 4号機共用)	分解点検 機能・性能試験	低	10Y 1F		定検停止中又はプラント運転中	
	泡消火設備 (1-SW、2-SW) (3, 4号機共用)	分解点検 機能・性能試験	低	10Y 1F		定検停止中又はプラント運転中	
	V-PS-319 4-固体廃棄物貯蔵庫泡消火用途がし弁 (3, 4号機共用)	分解点検 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F		定検停止中又はプラント運転中	
	V-PS-320 1, 2-固体廃棄物貯蔵庫泡消火用途がし弁 (3, 4号機共用)	分解点検 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F		定検停止中又はプラント運転中	
		防火ファン 7台	機能点検	低	13M		
		防火ファン 32台	機能点検	低	26M		
		防火兼ハロン運動ガンバ 10台	機能点検	低	26M		
		ハロン運動ガンバ 54台	機能点検	高	26M		
		ハロン運動ガンバ 25台	機能点検	低	26M		
		原子炉補助建屋 防火扉 111箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		原子炉周辺建屋 防火扉 43箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		3号機排煙ファン (中央排煙室) (3, 4号機共用)	分解点検	低	52M		
		4号機排煙ファン (中央排煙室) (3, 4号機共用)	分解点検	低	52M		
	1-固体廃棄物貯蔵庫	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	2-固体廃棄物貯蔵庫	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	種固体焼身炉建屋	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	モニタリングポスト (IC-1) (3, 4号機共用)	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	モニタリングポスト (IC-2) (3, 4号機共用)	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	モニタリングシステム (PS-1) (3, 4号機共用)	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中	

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ピット水位(SA) 2台	特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピット水位 (広域) 4台	特性試験	高	13M	GN3-73 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット温度(SA) 2台	特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ピット状態監視カメラ 2台	特性試験	低	13M		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備等(貯蔵設備))	N o . 1 使用済燃料ピット補給用水ポンプ (3,4号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		1F		
	N o . 2 使用済燃料ピット補給用水ポンプ (3,4号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		1F		
	N o . 3 使用済燃料ピット補給用水ポンプ (3,4号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		1F		
	N o . 4 使用済燃料ピット補給用水ポンプ (3,4号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		1F		
N o . 5 使用済燃料ピット補給用水ポンプ (3,4号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
	分解点検		10Y			
	機能・性能試験		1F			
N o . 6 使用済燃料ピット補給用水ポンプ (3,4号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
	分解点検		10Y			
	機能・性能試験		1F			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備等(貯蔵設備))	接続用中継ユニット出入口ライン使用済燃料ピットスプレイ用5mホース(3,4号機共用)13本 (予備含む)	外観点検	高	1F	GN3-225 可搬型重大事故等対処設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
		外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン集水分配管送水用10mホース2本 (予備含む)	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
		外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン集水分配管送水用40mホース2本 (予備含む)	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
		外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
機器又は系統名	蓄電池 (3系統目)	機能・性能試験	高	1C	CN3-222 直流電源系機能検査	()内は適用する設備診断技術	
	充電器盤 (3系統目蓄電池用)	機能・性能試験	高	1C	CN3-223 直流電源系動作検査		
	蓄電池 (3系統目) 切替盤	普通点検	高	6C			
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用) (3,4号機共用) 3個 (予備含む)	簡易点検	高	1F			定検停止中又はプラント運転中
	重大事故等対処用変圧器盤	普通点検	高	1C			
	重大事故等対処用変圧器受電盤	普通点検	高	1C			
	重大事故等対処用分電盤	普通点検	高	1C			
	常設電動注入ポンプ電源切替盤	普通点検	高	1C			
	計装用電源切替盤 2台	普通点検	高	1C			
	代替電源接続盤1	普通点検	高	1C			
	代替電源接続盤2 (3,4号機共用)	普通点検	高	1C			
	計装電源盤 (3系統目蓄電池用)	機能・性能試験	高	1C	CN3-112 インバータ機能検査		
	計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 1式	外観点検	高	1C			
	号炉間電力融通電路 (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C			
	予備ケーブル (号炉間電力融通用) (3,4号機共用) 12本	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F			定検停止中又はプラント運転中
	重大事故等対処用直流コントローラセンター	普通点検	高	6SM			
	発電機受電盤 (3,4号機共用) 2個	普通点検	高	1F			定検停止中又はプラント運転中
	通信・照明分電盤 (100V) (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1F			定検停止中又はプラント運転中
	PCセンター分電盤 (100V) (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1F			定検停止中又はプラント運転中
	動力分電盤 (200V) (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1F			定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (外部浸水防護設備) (内部浸水防護設備)	原子炉周辺建屋壁 (3,4号機共用) 3E-1~3E-4	外観点検	低	1F			
	代替緊急時対策所 (3,4号機共用) 1式	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中	
	待機所 (3,4号機共用) 1式	機能・性能試験	高	1C	CN3-216 緊急時対策所の居住確認検査	定検停止中又はプラント運転中	
		外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中	

3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉 注水設備)		機能・性能試験	高	1C	GN3-205 その他原子炉注水系統機能検査		
		簡易点検	高	13M	GN3-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN3-203 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	(振動診断：1カ月)	
		簡易点検(油入替他)	高	1C			(振動診断：1カ月)
		分解点検	高	65M			
		簡易点検	高	13M			
		分解点検	高	130M			(振動診断：1カ月)
		簡易点検(油入替他)	高	1C			(振動診断：1カ月)
		分解点検	高	65M			
		簡易点検	高	13M			(振動診断：1カ月)
		分解点検	高	130M			(振動診断：1カ月)
		簡易点検	高	65M			(振動診断：1カ月)
		簡易点検	高	13M			
		分解点検	高	130M			(振動診断：1カ月)
		簡易点検	高	65M			(振動診断：1カ月)
		開放点検	高	130M			
		分解点検	高	130M			
		駆動部点検	高	130M			
		電動機分解点検	高	130M			
		分解点検	高	130M			GN3-87 1次系逆止弁検査
		分解点検	低	130M			
分解点検	低	130M					
分解点検	低	130M					
分解点検	低	130M					
分解点検	低	130M					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	() 内は適用する設備 備考 診断技術	
計測制御系統施設 (制御用空気設備)		特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視装置機能検査		
		特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視装置機能検査		
		特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視装置機能検査		
		特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視装置機能検査		
		特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視装置機能検査		
		特性試験	高	13M	GN3-35 プラント状態監視装置機能検査		
		外観点検	高	1C			
		外観点検	高	1C			
		分解点検		130M			
		漏えい試験	低	10C	GN3-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		分解点検		130M			
		漏えい試験	低	10C	GN3-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		駆動部点検		130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験	高	10C	GN3-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検		130M			
		分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検		130M			
		分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査		
機能・性能試験		10C					
電動機分解点検		130M					
駆動部点検		130M					
分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査				
機能・性能試験		10C					
電動機分解点検		130M					

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 (その他設備)	実施数（機器名）	特性試験	高	13M	GN3-73 計測制御系統機能検査		
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		特性試験	高	13M			
		特性試験	高	13M			
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	1C			
		特性試験	高	13M			
		特性試験	高	13M		GN3-208 プロセスモニタ機能検査	
		特性試験	高	13M		GN3-209 エリアモニタ機能検査	
		機能・性能試験	高	1C		GN3-215 緊急時制御室の居住性確認検査	
		機能・性能試験	高	1C		GN3-210 緊急時制御室給気系機能検査	
		外観点検	高	1C			
		外観点検	高	1C			
		分解点検	高	78M			(振動診断：1カ月)
分解点検	高	78M			(振動診断：1カ月)		
開放点検	高	26M					
機能・性能試験	高	1C		GN3-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査			
機能・性能試験	高	1C					
機能・性能試験	高	1C					
分解点検	低	52M					
分解点検	低	130M					
漏えい試験	低	10C		GN3-86 1次系安全弁検査			
機能・性能試験	低	10C					
分解点検	低	130M					
漏えい試験	低	10C		GN3-86 1次系安全弁検査			
機能・性能試験	高	10C					
分解点検	高	130M					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 順 位	検査名	() 内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 (圧力減減設備その他の安全設備)		機能・性能試験	高	IC	GN3-48 原子炉格納容器安全系機能検査		
		機能・性能試験	高	IC	GN3-217 圧力逃がし系作動検査		
		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN3-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN3-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN3-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN3-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN3-87 1次系逆止弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN3-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		130M			
分解点検	高	130M					
開放点検		130M					
外観点検	高	10C					
機能・性能試験		3C	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査				
外観点検	高	10C					
機能・性能試験		3C	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査				
外観点検	高	10C					
機能・性能試験		3C	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	() 内は適用する設備 診断技術
		外観点検	高	1C		
		機能・性能試験	高	3C	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		外観点検	高	1C		
		機能・性能試験	高	3C	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		外観点検	高	1C		
		機能・性能試験	高	3C	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		特性試験	低	13M	GN3-73 計測制御系監視機能検査	
		特性試験	低	13M	GN3-73 計測制御系監視機能検査	
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	65M		
		機能・性能試験	高	9C	GN3-218 圧力逃がし系フィルター性能検査	
		簡易点検	高	13M		(振動診断：1カ月)
		分解点検	高	130M		(振動診断：1カ月)
		分解点検	高	65M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験	高	10C		
		電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験	高	10C		
		電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験	高	10C		
		電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験	高	10C		
		電動機分解点検	高	130M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	() 内は適用する設備 備考 診断技術
		駆動部点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
駆動部点検	130M					
分解点検	130M					
機能・性能試験	10C					
電動機分解点検	130M					
駆動部点検	130M					
分解点検	130M					
機能・性能試験	10C					
電動機分解点検	130M					
取替	130M					
取替	130M					
非破壊試験	10年間					
漏えい試験	5年間					
非破壊試験	10C					
外観点検	10C					
外観点検	10C					

原子力施設(その他設備)

GN3-88
1次系真空破壊弁検査

GN3-88
1次系真空破壊弁検査

GN3-200
重大事故等クラス1機器供用期間中検査

GN3-200
重大事故等クラス1機器供用期間中検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

GN3-103
耐震健全性検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 類 一 度	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)		外観点検	高	10C	GN3-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN3-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN3-103 耐震健全性検査	
		外観点検	高	10C	GN3-103 耐震健全性検査	
		開放点検	高	130M		
		気密試験	高	2C		
		開放点検	高	130M		
		気密試験	高	2C		
		簡易点検	高	26M		
		分解点検	高	169M		GN3-220 その他非常用発電装置の分解検査
		機能・性能試験	高	1C		GN3-221 その他非常用発電装置の機能検査
		簡易点検	高	1C		
		分解点検	高	169M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	39M		
		外観点検	高	1C		
		取替	高	117M		
		分解点検	高	130M		
		簡易点検	高	26M		
		分解点検	高	169M		GN3-220 その他非常用発電装置の分解検査
		機能・性能試験	高	1C		GN3-221 その他非常用発電装置の機能検査
		簡易点検	高	1C		
		分解点検	高	169M		
分解点検又は取替	高	104M				
分解点検	高	39M				
外観点検	高	1C				
取替	高	117M				
分解点検	高	130M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	() 内は適用する設備診断技術
		簡易点検	高	13M		
		分解点検	高	130M		
		分解点検	高	65M		
		簡易点検	高	13M		
		分解点検	高	130M		
		分解点検	高	65M		
		取替	高	117M		
		簡易点検	高	1C		
		取替	高	39M		
		取替	高	117M		
		簡易点検	高	1C		
		取替	高	39M		
		簡易点検	高	1C		
		普通点検	高	26M		
		分解点検	高	104M		
		機能・性能試験	高	1C	6NS-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C		
		普通点検	高	26M		
		分解点検	高	104M		
		機能・性能試験	高	1C	6NS-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		取替	高	39M		
		取替	高	39M		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		
		特性試験	高	13M		
		特性試験	高	13M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	() 内は適用する設備診断技術
		外観点検	高	1C		
		外観点検	高	1C		
		開放点検	高	130M		
		開放点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M		
		電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M		
		電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M		
		電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検	高	130M		
		分解点検	高	130M		
		電動機分解点検	高	130M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	104M		
		分解点検又は取替	高	104M		
		分解点検	高	104M		
		取替	高	52M		
		取替	高	52M		
		取替	高	52M		
		取替	高	52M		
		機能・性能試験	高	1C	GNS-112 インバータ機能検査	
		機能・性能試験	高	1C		
		機能・性能試験	高	1C		

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
		機能・性能試験	高	1C	6NS-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験	高	1C	6NS-223 直流電源系作動検査		
		機能・性能試験	高	1C			
		機能・性能試験	高	20C			
		機能・性能試験	高	20C			
		機能・性能試験	高	2C			
		機能・性能試験	高	2C			
		機能・性能試験	高	2C			
		機能・性能試験	高	2C			
		機能・性能試験	高	6C			
		機能・性能試験	高	2C			
		機能・性能試験	高	4C			
		機能・性能試験	高	4C			
		機能・性能試験	高	2C			
		総合点検	低	1Y			定検停止中又はプラント運転中
		機器点検		6ヶ月			
		機能点検	低	39M			
		機能点検	低	52M			
		機能点検	低	52M			
		外観点検	低	1F			
		外観点検	低	1F			
		外観点検	低	1F			
		分解点検	低	130M			
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	
		取替	低	10Y		プラント運転中	

機器又は系統名	実施教（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 類 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
		取替	低	IOV		プラットフォーム運転中
		外観点検	低	IF		
		外観点検	低	IF		
		外観点検	低	IF		
		外観点検	低	IF		
		外観点検	低	IF		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	高	IC		
		外観点検	低	IF		
		外観点検	低	IF		
土木建築設備						

添付書類四

定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）の変更箇所

1. 定期事業検査の判定方法

No.	項目	変更理由	該当ページ
1	重大事故等クラス1機器供用期間中検査	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、追加した。	2
2	JSME S NA1-2012/2013追補/2014追補	非破壊検査時の判定根拠に用いている「発電用原子力設備規格 維持規格」の適用年版の変更	3

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・緊急時対策所の居住性確認検査

○また、第18サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

表－１ 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補) に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸 透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及 び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二及び三）についての評価結果

玄海原子力発電所 第3号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう、保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2021.9.1 ～ 2023.6.30	プラントレベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF: 2021.9.1 ～ 2023.6.30 UA: 2020.5.1 ～ 2023.6.30	系統レベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。 (特定重大事故等対処施設については、2022年12月5日より監視開始)
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項・気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録	2021.9.1 ～ 2023.6.30	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2021.9.1 ～ 2023.6.30	不適合報告書、是正処置報告書の内容を確認し評価を行った結果、3-3C 及び 3-3D 440V パワーセンタ(安全系遮断器)について点検項目を追加する。本件について点検計画に反映する。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤自社他プラントの高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	2021.9.1 ～ 2023.6.30	安全性向上評価の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2021.9.1 ～ 2023.6.30	未然防止処置対策実施確認票の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報(NUCIA情報)		
	⑧海外情報		通達等の文書の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映する事項はなかった。
f. リスク情報、科学的知見	⑨通達等の文書	2021.9.1 ～ 2023.6.30	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑩リスク情報		
g. その他	⑪電力共同研究・技術開発	2021.9.1 ～ 2023.6.30	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑫以上に該当しない情報		
			社内方針決定文書等の内容を確認し評価を行った結果、特定重大事故等対処施設設置工事等について、保全活動管理指標、点検計画及び設計及び工事の計画へ反映する。

保安の有効性評価の結果等より保安へ反映した事項

1. 保安活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保安活動管理指標への反映				評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット情報の項目	事象の概要	評価内容		
1	特定重大事故等対処施設	予防可能故障回数目標値	—	<1回/ヶ月	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保安活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保安の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保安活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目標値	—						
2	特定重大事故等対処施設 代替注入（炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ）をするための設備 (SA-1)	予防可能故障回数目標値	—	<1回/ヶ月	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保安活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保安の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保安活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目標値	—						
3	特定重大事故等対処施設 フィルタバントをするための設備 (SA-1)	予防可能故障回数目標値	—	<1回/ヶ月	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保安活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保安の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保安活動管理指標を設定する。		
		非待機時間目標値	—						

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	
4	特定重大事故等対処施設 緊急時制御室(SA-1)	予防可能故障回数目標値	—	<1回/キ/ケル	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					
5	特定重大事故等対処施設 電源設備	予防可能故障回数目標値	—	<1回/キ/ケル	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					
6	特定重大事故等対処施設 計装設備	予防可能故障回数目標値	—	<1回/キ/ケル	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					
7	特定重大事故等対処施設 通信連絡設備	予防可能故障回数目標値	—	<2回/キ/ケル	その他	特定重大事故等対処施設の設置に伴い、保全活動管理指標の設定について検討した。	特定重大事故等対処施設について、保全の有効性を監視・評価するため、左記のとおり保全活動管理指標を設定する。	
		非待機時間目標値	—					
8	燃料取替用水系統 事故時のアラート状態の把握機能 (PAM機能)	予防可能故障回数目標値	<1回/キ/ケル	<2回/キ/ケル	その他	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	リスク重要度が「高」から「低」になったことから、予防可能故障回数目標値を<1回/キ/ケルから<2回/キ/ケルへ変更する。	

2. 点検計画への反映 (設計基準事故対処設備等)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更後						
		項目	変更前	変更後	変更後					
1	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 3V-FW-520A, 520B, 520C, 520D 3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	駆動部点検 頻度	130M	65M	「その他」	至近の点検状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	至近の点検における劣化状況や機器の設置環境等から総合的に評価し、駆動部点検の頻度を左記のとおり変更する。	①		
2	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 3LCV-1000 3号 C/V冷却材ドレンポンプ出口 ライン内隔離弁	分解点検 頻度	130M	52M	「その他」	至近の点検状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	至近の点検における劣化状況や動作頻度等から総合的に評価し、分解点検の頻度を左記のとおり変更する。	①		
3	原子炉格納施設 (原子炉格納容器) 電線管貫通部	実施数	46個	48個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
4	原子炉格納施設 (原子炉格納容器) 原子炉格納容器隔離弁	実施数	52個	60個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
5	原子炉施設 (その他設備) Ni基合金溶接部 1式	非破壊試験 頻度	7年間、 10年間	10年間	「その他」	原子炉容器出口管台溶接部保全工事及び原子炉容器上部ふた取替工事(690系Ni基合金化)に伴い、非破壊検査頻度の変更について検討を行った。	原子炉容器出口管台溶接部保全工事及び原子炉容器上部ふた取替工事による当該溶接部の690系Ni基合金化に伴い、維持規格に従い非破壊検査頻度を左記のとおり変更する。	—	GN3-1 クラス1 機器供用期間中検査	
外観検査 (ヘアリプル) 頻度	3C 5年間、 10年間	— 5年間								
6	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) A, B, 2次系純水タンク	開放点検 頻度	5Y	6Y	「その他」	至近の点検状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	至近の点検における劣化状況や類似機器の保全状況等から総合的に評価し、開放点検の頻度を左記のとおり変更する。	①		
7	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 3V-FW-574A, 574B, 574C, 574D 3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	駆動部点検 頻度	130M	65M	「その他」	至近の点検状況などから、点検頻度の見直しを検討した。	至近の点検における劣化状況や機器の設置環境等から総合的に評価し、駆動部点検の頻度を左記のとおり変更する。	①		
8	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 発電機保護装置 (継電器)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 26M	—	「その他」	保護リレー盤更新工事の実施に伴い、更新後の左記設備の点検計画見直しについて検討を行った。	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。	—		

2. 点検計画への反映 (設計基準事故対処設備等)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後					
9	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 主変圧器・所内変圧器保護装置 (継電器)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 26M	—	「その他」	保護リレー盤更新工事の実施に伴い、更新後の左記設備の点検計画見直しについて検討を行った。	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。		
10	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 予備変圧器保護装置 (継電器)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 2Y	—	「その他」	保護リレー盤更新工事の実施に伴い、更新後の左記設備の点検計画見直しについて検討を行った。	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。		
11	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 母線保護装置 (継電器)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 78M	—	「その他」	保護リレー盤更新工事の実施に伴い、更新後の左記設備の点検計画見直しについて検討を行った。	保護リレー盤更新後の左記設備は、自動監視機能の向上が図られており、常に主要回路の状態監視を行っていることから、保全方式を事後保全とし、点検計画の項目を削除する。		
12	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器他) 電流計 (500kV 玄海幹線2L北線) (3, 4号共用)	点検及び試験の項目 保全方式 又は頻度	特性試験 26M	—	「その他」	保全計画の最適化として点検状況に応じた点検時期の見直しを検討した。	玄海3号機の設備点検に合わせて点検する計画としていたが、点検時の作業性等を総合的に評価し、点検時期を玄海4号機の設備点検時に変更することから、左記項目を玄海3号機の点検計画から削除する。		
13	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 3-3C、3-3D 440Vパワーセンター (安全系遮断器)	点検及び試験の項目 頻度	—	簡易点検	「不適合」	非常用予備発電装置機能検査時に3A空調用冷凍機の起動遅れが発生したため、是正処置について検討を行った。	当該機器の遮断器において生じた酸化被膜等による接触不良事象を考慮し、簡易点検(リ)リ再送付、接点抵抗測定等)を追加し、左記のとおり今回の点検計画に反映する。	①	
14	火災防護設備 (その他設備) ハロン運動ダンパ	実施数	53台	54台	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。		

※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

2. 点検計画への反映 (重大事故等対処設備)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更後						
		項目	変更前	項目	変更後					
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設(使用済燃料貯蔵設備) 使用済燃料ピット状態監視カメラ 2台	特性試験 頻度	1Y	13M	「その他」	当該点検の実施時期が定検停止中になることが多いことから、点検頻度(点検時期)の見直しについて検討を行った。	作業性の観点などから、今後も定検停止中の点検になることが多いと考えられることから、点検頻度を左記のとおりとし、今回の点検計画に反映する。	—	定検停止中又はプラント運転中	
2	非常用電源設備 蓄電池 (3系統目)	点検及び試験の項目 保全重要度 頻度	— — —	機能・性能 試験 高 1C	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-222 直流電源系機能検査 GN3-223 直流電源系動作検査	
3	非常用電源設備 充電器盤 (3系統目蓄電池用)	点検及び試験の項目 保全重要度 頻度	— — —	機能・性能 試験 高 1C	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
4	非常用電源設備 蓄電池 (3系統目) 切替盤	点検及び試験の項目 保全重要度 頻度	— — —	普通点検 高 6C	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
5	非常用電源設備 計装電源盤 (3系統目蓄電池用)	点検及び試験の項目 保全重要度 頻度	— — —	機能・性能 試験 高 1C	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-112 インバータ機能検査	
6	非常用電源設備 計装分電盤 (3系統目蓄電池用) (電源切替盤含む) 1式	点検及び試験の項目 保全重要度 頻度	— — —	外観点検 高 1C	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
7	浸水防護施設 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備) 原子炉周辺建屋堰(3,4号機共用) 3F-1~3F-4	点検及び試験の項目 保全重要度 頻度	— — —	外観点検 低 1F	「その他」	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		

※点検頻度の変更に応じた評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		項目		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		変更前	変更後	点検及び試験 の項目	頻度					
1				機能・性能 試験 高	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施 する定期事業者検査について検討した。 左記の系統・機器に関連する定期事業者検査 を、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-205 その他原子炉注水系機能検査	
2				簡易点検 分解点検 高	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しについて検討を行った。	—	GN3-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分 解検査 GN3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 (振動診断：1カ月)	
3				簡易点検 分解点検 高	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に 反映する。また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
4				簡易点検 分解点検 高	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に 反映する。また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	GN3-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分 解検査 GN3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査 (振動診断：1カ月)	
5				簡易点検 分解点検 高	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に 反映する。また、振動診断を実施することとしたため、 備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
6				開放点検 高	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設 置した左記機器について、今後の健全性確保 及び機能維持を図るため、今回の点検計画に 反映する。	—		

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
7		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 130M					
8		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しについて検討を行った。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-87 1次系逆止弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M					
9		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		頻度	—	130M					
10		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		頻度	—	130M					
11		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
12		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		頻度	—	130M					
13		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能試験 電動機分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
14		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能試験 電動機分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
15		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
16		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
17		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
18		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
		点検及び試験の項目	—	特性試験					
19		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
		点検及び試験の項目	—	特性試験					
20		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
		点検及び試験の項目	—	特性試験					
21		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
		点検及び試験の項目	—	特性試験					
22		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
		点検及び試験の項目	—	特性試験					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後	項目					
23		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
24		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
25		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
26		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
27		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
28		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		点検計画の点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	変更前	変更後	項目					
29		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
30		点検及び試験 の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-86 1次系安全弁検査	
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M 10C 10C						
31		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
32		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	変更前	変更後					
33		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	CN3-73 計測制御系監視機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
34		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
35		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
36		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
37		点検及び試験 の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
38		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後						
39		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
40		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
41		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		GN3-208 プロセッサモニタ機能検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
42		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		GN3-209 エリアモニタ機能検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M						
43		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—		GN3-215 緊急時制御室の居住性確認検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
44		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—		GN-210 緊急時制御室給気系機能検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		インプット情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの評価項目※		
		項目	変更前	変更後						
45		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
46		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	78M						
47		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	(振動診断：1カ月)	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	78M						
48		点検及び試験の項目	—	開放点検機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	26M 1C						
49		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		点検計画の点検項目		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		変更前	変更後	項目	頻度					
50		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	52M						
51		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-86 1次系安全弁検査	
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M 10C 10C						
52		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
53		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-48 原子炉格納容器安全系機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
54		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-217 圧力逃がし系作動検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	頻度							
55		点検及び試験の項目	—	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
56		点検及び試験の項目	—	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
57		点検及び試験の項目	—	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	頻度							
58		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
		点検及び試験 の項目	—	分解点検						
59		保全重要度	—	高	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-87 1次系逆止弁検査
		頻度	—	130M						
		点検及び試験 の項目	—	開放点検						
		保全重要度	—	高						
60		点検及び試験 の項目	—	開放点検	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
		点検及び試験 の項目	—	外観点検 機能・性能 試験						
61		保全重要度	—	高	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-51 原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査
		頻度	—	1C 3C						
		点検及び試験 の項目	—	特性試験						
		保全重要度	—	低						
62		点検及び試験 の項目	—	特性試験	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-73 計測制御系監視機能検査
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	13M						
		点検及び試験 の項目	—	特性試験						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後						
63		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	—	GN3-73 計測制御系監視機能検査
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	13M						
		点検及び試験の項目	—	開放点検						
64		保全重要度	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	—	
		頻度	—	130M						
		点検及び試験の項目	—	開放点検						
		保全重要度	—	高						
65		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	—	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
		点検及び試験の項目	—	開放点検機能・性能試験						
66		保全重要度	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	—	GN3-218 圧力逃がし系フィルター性能検査
		頻度	—	65M 5C						
		点検及び試験の項目	—	簡易点検分解点検						
		保全重要度	—	高						
67		点検及び試験の項目	—	簡易点検分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M 130M						
		点検及び試験の項目	—	分解点検						
68		保全重要度	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ反映する。	—	—	(振動診断：1カ月)
		頻度	—	65M						
		点検及び試験の項目	—	分解点検						
		保全重要度	—	高						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	変更前	変更後					
69		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
70		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
71		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	頻度							
72		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
73		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						
74		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—	GN3-85 1次系弁検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 10C 130M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
75		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
76		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					
77		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	130M 130M 10C 130M					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後						
78		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-88 1次系真空破壊弁検査	
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M						
		点検及び試験の項目	—	非破壊試験 漏えい試験 非破壊試験						
79		保全重要度	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-200 重大事故等クラス1機器供用期間中検査	
		頻度	—	10年間 10年間 5年間						
		点検及び試験の項目	—	外観点検						
		保全重要度	—	高						
80		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
		点検及び試験の項目	—	外観点検						
81		保全重要度	—	高	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		頻度	—	10C						
		点検及び試験の項目	—	外観点検						
		保全重要度	—	高						
82		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
		点検及び試験の項目	—	外観点検						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	頻度							
83		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
84		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
85		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
86		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						
87		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	10C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	頻度							
88		点検及び試験の項目	外観点検	—	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査
		保全重要度	高	—	—					
		頻度	10C	—	—					
89		点検及び試験の項目	外観点検	—	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査
		保全重要度	高	—	—					
		頻度	10C	—	—					
90		点検及び試験の項目	外観点検	—	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-103 耐震健全性検査
		保全重要度	高	—	—					
		頻度	10C	—	—					
91		点検及び試験の項目	開放点検 気密試験	—	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	高	—	—					
		頻度	130M 2C	—	—					
92		点検及び試験の項目	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	—	—	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-220 その他非常用発電装置の分解検査 GN3-221 その他非常用発電装置の機能検査
		保全重要度	高	—	—					
		頻度	26M 169M 1C	—	—					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※		
		項目	変更前	変更後						
93		点検及び試験 の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C 169M						
94		点検及び試験 の項目	—	分解点検 又は取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	104M						
95		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	39M						
96		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
97		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	117M						
98		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	頻度							
99		点検及び試験の項目	—	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	13M 130M						
100		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	65M						
101		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	117M						
102		点検及び試験の項目	—	簡易点検 取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C 39M						
103		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	39M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
104		点検及び試験の項目	—	簡易点検 普通点検 分解点検 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-221 その他非常用発電装置の機能検査
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C 26M 104M 1C					
105		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
106		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					
107		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	13M					
108		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		頻度	—	1C					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	頻度							
109		点検及び試験 の項目	—	開放点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M						
110		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 130M						
111		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 130M						
112		点検及び試験 の項目	—	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	130M 130M 130M						
113		点検及び試験 の項目	—	分解点検 又は取替	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—			
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	104M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		項目	変更前					変更後		
114		点検及び試験 の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	104M						
115		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	52M						
116		点検及び試験 の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	52M						
117		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-112 インバータ機能検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
118		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
119		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	GN3-222 直流電源系機能検査 GN3-223 直流電源系動作検査	
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※			
		項目	変更前					変更後		
120		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
121		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	20C						
122		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	20C						
123		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
124		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
125		点検及び試験 の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点 検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置 した左記機器について、今後の健全性確保及 び機能維持を図るため、今回の点検計画に反 映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	6C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		インプット情報の項目		事象の概要	評価内容	4つの評価項目※		
		項目	変更前	変更後						
126		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
127		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	4C						
128		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	4C						
129		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	2C						
130		点検及び試験の項目	—	総合点検 機器点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1Y 6ヶ月						
131		点検及び試験の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	39M						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更		インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※			
		項目	変更前					変更後		
132		点検及び試験の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	52M						
133		点検及び試験の項目	—	機能点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	52M						
134		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	130M						
135		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
136		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
137		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更項目	変更前	変更後	項目					
138		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
139		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
140		点検及び試験の項目	—	取替	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	10Y						
141		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
142		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
143		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	頻度							
144		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
145		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
146		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
147		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
148		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
149		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
150		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度		高					
		頻度		1C					
151		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度		高					
		頻度		1C					
152		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度		高					
		頻度		1C					
153		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度		高					
		頻度		1C					
154		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度		高					
		頻度		1C					
155		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度		高					
		頻度		1C					

2. 点検計画への反映 (特定重大事故等対処施設)

No.	系統・機器名	保全への反映内容				評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		変更前	変更後	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※	
		項目	頻度							
156		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	高						
		頻度	—	1C						
157		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						
158		点検及び試験 の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—		
		保全重要度	—	低						
		頻度	—	1F						

※点検頻度の變更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容		
1	重大事故等対処設備 緊急時対策棟	緊急時対策棟設置工事	「その他」	緊急時対策所機能の更なる向上を図るため、新たに設置する緊急時対策棟に緊急時対策所機能を移行する。	第17保全サイクルにおいて、緊急時対策棟設置工事を実施する。		
2	原子炉本体 原子炉容器	原子炉容器上部ふた取替工事	「その他」	国内外の600ニッケル基金金を使用している原子炉容器上部ふた管台の応力腐食割れの損傷事例を踏まえ、現状問題ないが、更なる信頼性向上として、応力腐食割れに感れた690ニッケル基金金を用いた原子炉容器上部ふたに取り替える。	第17回定期事業者検査において、原子炉容器上部ふた取替工事を実施する。		
3	原子炉冷却系統施設 化学体積制御設備	抽出剤フリス廻り弁・配管取替工事	「その他」	使用している差し込み溶接式管継手は、突合せ溶接式管継手より比較的応力集中を受けやすい形状であるため、当該部の変更工事を実施する。	第17回定期事業者検査において、抽出剤フリス廻り弁・配管取替工事を実施する。		
4	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水 設備)	1次系海水管修繕工事	「その他」	他プラントにおいて、ゴムライニング配管の劣化が確認されていることから、高耐久ポリエチレン配管への取替えを実施し、海水管の信頼性向上を図る。	第17回定期事業者検査において、1次系海水管修繕工事を実施する。		
5	蒸気タービン (蒸気タービンに附属 する管等) 低温再熱蒸気管	低温再熱蒸気管修繕工事	「その他」	配管の減肉が確認されたため、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	第17回定期事業者検査において、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	GN3-127 2次系配管検査	
6	蒸気タービン (蒸気タービンに附属 する熱交換器) 低圧第2給水加熱器	低圧第2給水加熱器開放点検	「その他」	他プラントにおいて、伝熱管の損傷事象が確認されていることから、開放点検を実施する。	第17回定期事業者検査において、開放点検を実施する。	GN3-126 2次系熱交換器検査	
7	蒸気タービン (調速装置及び非常調 速装置並びに調速装置 で制御される主要弁)	主蒸気止め弁リミットスイッチ取替工事	「その他」	原子炉非常停止信号用の主蒸気止め弁のリミットスイッチについて、予防保全の観点から取替えを行う。	第17回定期事業者検査において、主蒸気止め弁リミットスイッチ取替工事を実施する。		

3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容			
8	計測制御系統施設 (その他設備) 炉外核計測装置	炉外中性子束検出器修繕工事	「その他」	炉外中性子束検出器(中性子源領域、中間領域、出力領域)について予防保全の観点から取替えを実施する。	第17回定期事業者検査において、炉外中性子束検出器の取替えを実施する。	GN3-106 核計装設備検査		
9	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	R C P S 伝送器修繕工事	「その他」	蒸気発生器広域水位等の計測装置の検出器について予防保全の観点から取替えを実施する。	第17回定期事業者検査において、R C P S 伝送器の取替えを実施する。	GN3-34 安全保護系設定値確認検査 GN3-35 プラットフォーム状態監視設備機能 検査		
10	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	1 プロ伝送器修繕工事	「その他」	原子炉容器水位計測装置の検出器について、予防保全の観点から取替えを実施する。	第17回定期事業者検査において、原子炉容器水位伝送器の取替えを実施する。			
11	計測制御系統施設 (その他設備)	デジタル安全保護系共通要因故障対策工事	「その他」	デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障緩和対策に伴い、デジタル安全保護回路及び関連設備への対策工事を実施する。	第17回定期事業者検査において、デジタル安全保護系共通要因故障対策工事を実施する。			
12	火災防護設備 (その他設備)	電線管内ケーブル系統分離対策工事	「その他」	耐火対策を要する火災防護対象ケーブルを収納する電線管に対して、既工認を踏まえた耐火隔壁設置工事を実施する。	第17回定期事業者検査において、電線管内ケーブル系統分離対策工事を実施する。			
13	重大事故等対処設備 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設(使用済 燃料貯蔵設備)	S F P 水位計 (S A) 伝送器取替工事	「その他」	使用済燃料ピット水位 (S A) 検出器について、予防保全の観点から取替えを実施する。	第17回定期事業者検査において、S F P 水位計 (S A) 伝送器取替工事を実施する。			
14	火災防護設備	火災感知器追設工事	「その他」	火災防護に関する審査基準の改正を踏まえ、火災感知器追加設置工事を実施する。	第17回定期事業者検査において、火災感知器追設工事を実施する。			

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル (評価対象期間 : 2021年9月1日~2023年6月30日)

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動トリップ回数	1回 / 7000 臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回 / 7000 臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFF 回数評価対象期間: 2021年9月1日~2023年6月30日, U/A時間評価対象期間: 2020年5月1日~2023年6月30日) ※監視期間に変更があった系統については、監視期間を備考欄に示す。

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF 回数)		実績	目標値	非符機時間 (U/A時間)	実績	備考
		目標値	実績					
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過熱機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	---	---	---
	安全弁及び過熱防止弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
化学体積制御系統	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	未識別燃料機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除去されている計装等の小口様のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	---	---	---
安全注入系統	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	本線昇格維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
系統除去系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
原子炉格納容器スプレッド系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFD回数)		非待機時間 (U/A時間)	備考
		目標値	実績		
原子炉補機給排水系統	安全上特に重要な閉じ込め機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	安全上特に重要な閉じ込め機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <1時間/2サイクル B.トレイン <1時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル
制御用空気系統	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	未遂非維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル
	炉心冷却機能、放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル
	燃料プールの水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	【燃料取扱用タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取扱用タンク以外】 <240時間/2サイクル	【燃料取扱用タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取扱用タンク以外】 <240時間/2サイクル
燃料取扱設備	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	燃料を安全に取り扱う機能 (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	原子炉冷却炉圧力タンクに直接接続されていないものであって、放射線物質を貯蔵する機能 (放射線物質を貯蔵する機能) (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	燃料を安全に取り扱う機能 (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---
換気空調設備 (格納容器給排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
換気空調設備 (安全罐隔壁空気浄化系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <12時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	未遂非維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル
換気空調設備 (安全罐隔壁冷却系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFD回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全補機用空気空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <8時間/2サイクル Bトレイ <8時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中間補機用空気空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <240時間/2サイクル Bトレイ <240時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
	原子炉停止長の加熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <240時間/2サイクル Bトレイ <240時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <240時間/2サイクル Bトレイ <240時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (補助煙感給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう酸タンク室空調系)	未燃界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <240時間/2サイクル Bトレイ <240時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <720時間/2サイクル Bトレイ <720時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <720時間/2サイクル Bトレイ <720時間/2サイクル トレイ共通、2トレイ同時故障	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル トレイ共通、2トレイ同時故障	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <720時間/2サイクル Bトレイ <720時間/2サイクル トレイ共通、2トレイ同時故障	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル トレイ共通、2トレイ同時故障	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <720時間/2サイクル Bトレイ <720時間/2サイクル トレイ共通、2トレイ同時故障	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル トレイ共通、2トレイ同時故障	
炉内格納物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスター機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成部品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉格納容器	未燃界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
1次系サブリング系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器・ウランタンク機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<48時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間/2サイクル/弁 0時間/2サイクル/エアロック	
	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷卻材はう素濃度サブリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主蒸気及び再熱蒸気系統 (SG~高圧タービン)	原子炉停止長の加熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <60時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 <16時間/2サイクル/基	【主蒸気安全弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 0時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

システム名	要求機能	予防可能回数 (MPFD回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
給水系統 (HPHu~SG)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【T/M補助給水ポンプ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプAトレイ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプBトレイ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプCトレイ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプDトレイ】 0時間/2サイクル	【T/M補助給水ポンプ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプAトレイ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプBトレイ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプCトレイ】 0時間/2サイクル 【M/R補助給水ポンプDトレイ】 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
S Cプロセッサ及びサンプリング系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
海水系統	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
主母線結線図 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
主母線結線図 (R C/C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【直流母線】 0時間/2サイクル/母線 【交流母線】 0時間/2サイクル/母線 【蓄電池・充電器同時故障】 0時間/2サイクル/基	【直流母線】 0時間/2サイクル/母線 【交流母線】 0時間/2サイクル/母線 【蓄電池・充電器同時故障】 0時間/2サイクル/基	
直放電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
電源用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	工学的安全確認及び原子炉停止系の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
炉内保護・計量設備	工学的安全確認及び原子炉停止系の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
	過熱反応度の抑制機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御棒駆動装置 (機械系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	制御棒維持機能 (原子炉停止系のうち制御棒による系の直放関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイ	【原子炉トリップ遮断器】 0時間/2サイクル/トレイ	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	

システム名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFR回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
ディーゼル発電機始動用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃焼油系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の燃焼油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の潤滑油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の冷却水系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間00分/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
気体亜毒物処理系統	原子炉冷却剂圧力バウンダリに直接接続されているものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】(手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネルネル (自動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネルネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <24時間/2サイクル/チャンネルネル) <1時間/2サイクル/チャンネルネル (バックアップ)	【原子炉保護系論理回路】 0時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】(手動トリップ) 0時間/2サイクル/チャンネルネル (自動トリップ) 0時間/2サイクル/チャンネルネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは 0時間/2サイクル/チャンネルネル) 0時間/2サイクル/チャンネルネル (バックアップ)	
中央制御室設備	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/チャンネルネル 【工学的安全施設等作動論理回路】 【工学的安全施設等作動論理回路】 0時間/2サイクル/チャンネルネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネルネル (自動起動) <6時間/2サイクル/チャンネルネル (自動起動) 【ディーゼル発電機緊急論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネルネル 【中央制御室非待機時作動論理回路への信号発信】 <120時間/2サイクル/チャンネルネル	【工学的安全施設等作動論理回路】 0時間/2サイクル/チャンネルネル 【工学的安全施設等作動論理回路】 【工学的安全施設等作動論理回路】 0時間/2サイクル/チャンネルネル (手動起動) 0時間/2サイクル/チャンネルネル (自動起動) 0時間/2サイクル/チャンネルネル (自動起動) 【ディーゼル発電機緊急論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネルネル 【中央制御室非待機時作動論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネルネル	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
エア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
中央制御室当室時測機	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉周辺建屋	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
原子炉補助建屋	放射性物質の閉じ込め機能、放射性の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
取水施設	安全上特に重要な関連機能 (海水供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFD回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対策設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	1次系のフィードバックブリードを抑制するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉停止ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器過負荷弁 <72時間/2サイクル	原子炉停止ポンプ 0時間/2サイクル 加圧器過負荷弁 0時間/2サイクル	
	炉心注入を抑制するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	代替炉心注入 (B) 蒸気発生ポンプ (自己冷却) <720時間/2サイクル (可搬型) デーザー炉心注入ポンプ <720時間/2サイクル (B) 格納容器スプレイポンプ <72時間/2サイクル	代替炉心注入 (B) 蒸気発生ポンプ (自己冷却) 0時間/2サイクル (可搬型) デーザー炉心注入ポンプ 0時間/2サイクル 代替再循環運転 (B) 格納容器スプレイポンプ 0時間/2サイクル	
	1次冷却系統の減圧を抑制するための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	加圧器過負荷弁による減圧 <240時間/2サイクル	加圧器過負荷弁による減圧 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイを抑制するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替炉心注入 (B) 蒸気発生ポンプ <720時間/2サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替炉心注入 (B) 蒸気発生ポンプ 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流を抑制するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流抑制 <720時間/2サイクル 移動式大容積ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流抑制及び代替再循環冷却 <720時間/2サイクル	原子炉格納容器内自然対流抑制 0時間/2サイクル 移動式大容積ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流抑制及び代替再循環冷却 0時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)を抑制するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	--	--	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放注)を抑制するための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	水素発生による原子炉格納容器の破損を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	水素濃度低減<720時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	水素濃度低減<0時間/2サイクル 水素濃度監視<0時間/2サイクル	
	水素発生による原子炉格納容器の破損を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	--	--	
	管束内外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	重大事故等の取返に必要となる水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	中間冷却機、貯水用水中ポンプ 復水タンク (ヒート) 供給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	中間冷却機、貯水用水中ポンプ 復水タンク (ヒート) 供給用水中ポンプ 0時間/2サイクル 燃料取替用タンク、復水タンク 0時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対処用変圧器受電盤 燃料貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	電源設備 0時間/2サイクル 重大事故等対処用変圧器受電盤 燃料貯蔵タンク、タンクローリ 0時間/2サイクル	
	計測設備		0回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能	0時間/2サイクル 記録機能	
中央制御室		<1回/サイクル	中央制御室非常用電源系 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	中央制御室非常用電源系 0時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 0時間/2サイクル		

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFD回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対策設備 特定重大事故等対策施設	監視測定設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	緊急時対策所 (代替緊急時対策所) (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	代替電源からの給電 <720時間/2サイクル 居住性の確保 <300時間/2サイクル 代替緊急時対策用ユリテモニタ	代替電源からの給電 0時間/2サイクル 居住性の確保 0時間/2サイクル 代替緊急時対策用ユリテモニタ	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	その他の設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	代替注入 (炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ) をするための設備 (SA-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル			
	フィルタベントをするための設備 (SA-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル			
	緊急時抑留室 (SA-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル			
	電源設備	<1回/サイクル	0回/サイクル			
	計装設備	<1回/サイクル	0回/サイクル			
	通信連絡設備	<2回/サイクル	0回/サイクル			

監視期間：2022年12月5日～

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし